

#2

Attorney Docket No. 1341.1115

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Patent Application of:

Tadashi OHASHI

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: December 20, 2001

Examiner:

For: DIGITAL DOCUMENT DISCUSSION APPARATUS AND DIGITAL DOCUMENT  
DISCUSSION METHOD



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN  
APPLICATION IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s)  
herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-290138

Filed: September 21, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing  
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the  
requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: December 20, 2001

By: \_\_\_\_\_

James D. Halsey, Jr.  
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500  
Washington, D.C. 20001  
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

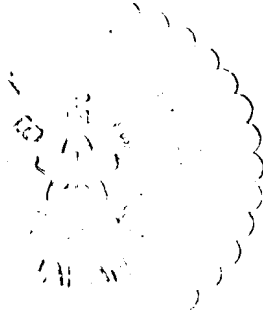
2001年 9月21日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2001-290138

出 願 人  
Applicant(s):

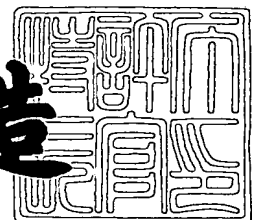
富士通株式会社



2001年11月26日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3102293

【書類名】 特許願

【整理番号】 0151455

【提出日】 平成13年 9月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06T 11/80

【発明の名称】 デジタル文書審議装置およびデジタル文書審議方法

【請求項の数】 10

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 大橋 正

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100089118

【弁理士】

【氏名又は名称】 酒井 宏明

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036711

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9717671

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 デジタル文書審議装置およびデジタル文書審議方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納手段と、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段と

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供手段と、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成手段と

前記審議文書作成手段により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼手段と、

を備えたことを特徴とするデジタル文書審議装置。

【請求項 2】 前記テンプレートは、業務フローをなす複数の業務プロセスのそれぞれに対応させて複数設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のデジタル文書審議装置。

【請求項 3】 ユーザへの情報開示に関して、前記ユーザの属性情報に基づきユーザの立場が反映された各種情報を開示させる制御を行う情報開示制御手段を備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のデジタル文書審議装置。

【請求項 4】 前記審議依頼手段は、前記属性情報に基づいて、前記審議文書の依頼先を自動設定することを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一つに記載のデジタル文書審議装置。

【請求項 5】 前記業務プロセスに応じて、前記審議依頼手段より依頼された前記審議文書を前記審議者に審議させる審議手段を備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一つに記載のデジタル文書審議装置。

【請求項 6】 前記審議依頼手段より依頼された前記審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から前記審議者により指定された資料情報を検索する検索

手段と、前記審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一つに記載のデジタル文書審議装置。

【請求項 7】 前記検索手段は、前記業務フローをなす業務プロセス毎に複数の資料情報を利用頻度順に並べ替えて前記審議者へ開示することを特徴とする請求項 6 に記載のデジタル文書審議装置。

【請求項 8】 前記検索手段は、前記業務フローにおける業務プロセスを利用頻度に応じて並べ替えることを特徴とする請求項 6 または 7 に記載のデジタル文書審議装置。

【請求項 9】 デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納工程と、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供工程と、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成工程と

複数の資料情報を蓄積する資料情報蓄積工程と、

前記審議文書作成工程により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼工程と、

前記審議依頼工程より依頼された前記審議文書と関連性がある資料情報を前記複数の資料情報から検索する検索工程と、

前記審議文書の審議に際して前記検索工程で検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供工程と、

を含むことを特徴とするデジタル文書審議方法。

【請求項 1 0】 デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納工程と、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供工程と、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成工程と

前記審議文書作成工程により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼工程と、

前記審議依頼工程で依頼された前記審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から前記審議者により指定された資料情報を検索する検索工程と、

前記審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供工程と、

前記業務プロセスに応じて、前記審議依頼工程で依頼された前記審議文書を前記審議者に審議させる審議工程と、

を含むことを特徴とするデジタル文書審議方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

##### 【発明の属する技術分野】

本発明は、企業等におけるデジタル文書の審議をクライアント／サーバ型のシステム構成で実現するためのデジタル文書審議装置およびデジタル文書審議方法に関するものであり、特に、審議にかかる作業を迅速に行うことができるデジタル文書審議装置およびデジタル文書審議方法に関するものである。

##### 【0002】

従来より、企業では、各種プロジェクトや社内ルール等の制定時または改版時に、かかる内容を記載した審議依頼書面が紙ベースで関連部門や社外取引先等へ配布され、当該審議依頼書面の内容が審議される。しかしながら、従来では、紙ベースで審議依頼書面が配布されるため、コピーの作成、配布先の管理、審議結果の回収・集計管理、未回収時の催促等に膨大な労力およびコストがかかっていた。従って、従来よりかかる問題を効果的に解決することができる手段、方法が

切望されていた。

【 0 0 0 3 】

【従来の技術】

上述したように、従来では、企業においては、書面審議を経てあらゆる仕事が遂行されている。具体的には、図 4 1 に示したように、審議依頼部門の審議依頼者は、審議対象である設計製造ルール（規格、図面、文書等）を記載した原本を作成した後、審議受託部門の数分だけ当該原本一式を審議依頼書面としてコピーしこれらを封筒詰めする。

【 0 0 0 4 】

つぎに、審議依頼者は、複数の封筒に配布先情報（部門、メール番号、審議者、職制）をそれぞれ記載した後、社内の郵便システムを利用して、各審議受託部門へ審議依頼書面一式を配布する。ここで、配布先情報は、人事異動、組織変更がある度に、職制管理部門により公開された職制表に基づいて更新される。

【 0 0 0 5 】

そして、審議依頼書面が審議者に配布されると、当該審議者は、審議依頼書面を審議する。ここで、審議者は、必要に応じて、審議に必要な資料を入手し、この資料を参照しながら、審議依頼書面を審議する。そして、審議者は、審議結果（承認、却下、変更）の回答を紙ベースで審議依頼者へ郵便システムを利用して発送する。

【 0 0 0 6 】

そして、審議依頼者は、複数の審議者からの審議結果を紙ベースで回収する。ここで、所定の回答期限を過ぎても全ての審議結果の回収が完了しない場合、審議依頼者は、電話等により当該審議者に督促する。全ての審議結果が回収されると、審議結果が集計された後、設計製造ルール（規格、図面、文書等）の原文に反映される。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、前述したように、従来では、審議依頼書面の配布や審議結果の回答の回収を紙ベースで行っているため、全体として膨大な量の紙が必要になるとと

もに、配布作業、回収作業、集計作業等の一連の書面審議作業を迅速に行うことが難しいという問題があった。

【0008】

また、従来においては、人事異動、組織変更に伴い、配布先（審議者）の所属部門、職制等の変更を正確に配布先情報に反映させなければならないため、配布先情報の管理だけをとっても多大な労力、コストがかかることは容易に想像できる。特に、人事異動、組織変更が頻繁に行われる企業では、かかる問題が顕著となる。

【0009】

本発明は、上記に鑑みてなされたもので、書面審議にかかる作業を迅速に行うことができるデジタル文書審議装置およびデジタル文書審議方法を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納手段と、ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段と、前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供手段と、前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成手段と、前記審議文書作成手段により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼手段とを備えたことを特徴とする。

【0011】

この発明によれば、審議文書に対応する業務プロセスおよび属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、依頼対象の審議文書を作成させているので、業務プロセスに対応付けて迅速に審議文書の作成および依頼を行うことができる。

【0012】

また、本発明は、デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納す



る審議文書格納工程と、ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と、前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供工程と、前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成工程と、複数の資料情報を蓄積する資料情報蓄積工程と、前記審議文書作成工程により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼工程と、前記審議依頼工程より依頼された前記審議文書と関連性がある資料情報を前記複数の資料情報から検索する検索工程と、前記審議文書の審議に際して前記検索工程で検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供工程とを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 3 】

この発明によれば、審議文書に対応する業務プロセスおよび属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、依頼対象の審議文書を作成させているので、業務プロセスに対応付けて迅速に審議文書の作成および依頼を行うことができ、さらに、審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供しているため、審議に必要な資料を探す手間が省け、さらに審議を迅速に行うことができる。

## 【 0 0 1 4 】

また、本発明は、デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納工程と、ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と、前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供工程と、前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成工程と、前記審議文書作成工程により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼工程と、前記審議依頼工程で依頼された前記審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から前記審議者により指定された資料情報を検索する検索工程と、前記審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供工程と、前記業務プロセスに応じて、前記審議依頼工程で依頼された前記審議文書を前記審議者に審議

させる審議工程とを含むことを特徴とする。

【0015】

この発明によれば、審議文書に対応する業務プロセスおよび属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、依頼対象の審議文書を作成させているので、業務プロセスに対応付けて迅速に審議文書の作成および依頼を行うことができ、さらに、審議文書の審議に際して、審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から審議者により指定された資料情報を審議者へ提供しているため、審議に必要な資料を探す手間が省け、さらに審議を迅速に行うことができる。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明にかかるデジタル文書審議装置およびデジタル文書審議方法の一実施の形態について詳細に説明する。

【0017】

図1は、本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。同図に示したデジタル文書審議システムは、WAN (Wide Area Network) / LAN (Local Area Network) 等のネットワーク200にそれぞれ接続された、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub> ~ 100<sub>n</sub>、審議者側クライアント300<sub>1</sub> ~ 300<sub>m</sub>、検索サーバ400およびデジタル文書審議装置500から構成されている。なお、図1においては、説明を簡単にするために、ネットワーク接続上必要な通信装置（ターミナルアダプタ、ルータ、ファイアウォール等）の図示が省略されている。

【0018】

審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub> ~ 100<sub>n</sub> は、例えば、TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) に従って、ネットワーク200を介してデジタル文書審議装置500にアクセス可能なn台のコンピュータ装置である。これらの審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub> ~ 100<sub>n</sub> のそれぞれは、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。

## 【0019】

また、これらの審議依頼者側クライアント $100_1 \sim 100_n$ は、デジタル化された文書（デジタル化された規格書、図面、文書等一切のものを含む）の審議を、審議者に依頼する複数の文書審議依頼者によりそれぞれ操作される。ここでいう審議者とは、文書審議を行い、審議結果を回答する者である。さらに、これらの審議依頼者側クライアント $100_1 \sim 100_n$ には、メーラ（図示略）およびWebブラウザが備えられている。

## 【0020】

メーラは、図示しないメールサーバを介して電子メールを送信／受信するための機能を提供する。この電子メールの送信／受信には、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）やPOP3（Post Office Protocol version 3）が利用される。Webブラウザは、デジタル文書審議装置500により提供されるWebページを閲覧するためのソフトウェアプログラムである。

## 【0021】

審議者側クライアント $300_1 \sim 300_m$ は、TCP/IPに従って、ネットワーク200を介してデジタル文書審議装置500にアクセス可能なm台のコンピュータ装置である。これらの審議者側クライアント $300_1 \sim 300_m$ のそれぞれは、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。

## 【0022】

また、これらの審議者側クライアント $300_1 \sim 300_m$ は、上述した文書審議の依頼を受けた複数の審議者によりそれぞれ操作される。さらに、これらの審議者側クライアント $300_1 \sim 300_m$ にも、メーラおよびWebブラウザが備えられている。

## 【0023】

検索サーバ400は、審議依頼者が審議対象である規格、図面、文書等を作成する際、または審議者が審議をする際に参照される各種資料を資料情報データベース410から、後述するXML（eXtensible Markup Language）のタグをキーとして検索するサーバである。

## 【0024】

資料情報データベース410は、フレーズ（キーワード）にXMLのタグが付された資料がXMLファイルとして格納されている。図3に示したように、資料情報データベース410には、資料としての審議ルール（規格、図面、文書等）の原本や審議結果等のXMLファイルが格納されている。

## 【0025】

デジタル文書審議装置500は、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>～100<sub>n</sub>、審議者側クライアント300<sub>1</sub>～300<sub>m</sub>に対して、Web画面（図24～図33参照）や電子メールを介して、デジタル文書審議にかかる各種機能を提供する装置である。

## 【0026】

デジタル文書審議装置500において、通信インタフェース501は、TCP/IPに従って、ネットワーク200を介して外部装置との間の通信を制御する。制御部502は、デジタル文書審議機能を実現するための各種制御を行う。この制御部502の動作の詳細については後述する。

## 【0027】

メール送受信部503は、デジタル文書審議装置500と外部装置との間におけるメールの送受信を制御する。Web画面生成部504は、図24～図33にそれぞれ示したWeb画面を自動生成する。

## 【0028】

ここで、図2に示したように、一実施の形態では、「設計過程」→「製造過程」→「組み立て」→「試験過程」→「現地調整」というフローからなる設計・製造業務プロセス（以下では、業務プロセスと称する）毎に、ルール1～ルール5が設定されており、審議文書の作成、審議、審議結果の処理が実行される。ルール1～ルール5は、それぞれ仕様書または規格類である。

## 【0029】

図1に戻り、ユーザプロフィール情報データベース600は、図4に示したように、デジタル文書審議装置500のユーザ（審議依頼者、審議者）のプロファイル情報（ユーザID、氏名、……担当規格、担当図面、担当文書、……）を格

納するデータベースである。

【0030】

図1に戻り、担当職制プロファイル情報データベース610は、図5に示したように、ユーザ（審議依頼者、審議者）の担当職制プロファイル情報（会社名、本部長、……担当規格、担当図面、担当文書、……）を格納するデータベースである。

【0031】

図1に戻り、XMLデータベース620は、図6に示したように、審議文書の作成に用いられるテンプレートや、審議ルール（規格、図面、文書等）の原本や審議結果等のXMLファイルが格納されている。

【0032】

図7には、上述したXMLファイル700の一例が図示されている。このXMLは、ユーザが独自のタグ（以下、XMLタグという）を定義することができるため、拡張性が高いマークアップ言語である。また、XMLでは、Webブラウザで情報を閲覧することができるとともに、資料情報データベース410やXMLデータベース620から直接情報を引き出すこともできる。

【0033】

図1に戻り、管理情報データベース630には、ユーザの管理情報（ユーザID、会社ID、パスワード等）が格納されている。

【0034】

つぎに、上述した一実施の形態の動作について、図8～図23にそれぞれ示したフローチャートおよび図24～図33にそれぞれ示した各画面（Webページ）を参照しつつ詳細に説明する。

【0035】

図8に示したステップSA1では、デジタル文書審議装置500の制御部502は、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>～100<sub>n</sub>、審議者側クライアント300<sub>1</sub>～300<sub>m</sub>のうちいずれかのクライアントからネットワーク200を介してアクセスが有るか否かを判断し、判断結果が「No」である場合、同判断を繰り返す。

【0036】

ここで、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>がネットワーク200を介してデジタル文書審議装置500にアクセスすると、制御部502は、ステップSA1の判断結果を「Yes」とする。ステップSA2では、制御部502は、認証処理を実行する。具体的には、図9に示したステップSB1では、制御部502は、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に図24に示した認証画面800を表示させる。

【0037】

この認証画面800は、当該ユーザ（この場合、審議依頼者）の認証に必要な認証情報（会社ID、ユーザIDおよびパスワード）を入力するための画面である。この認証画面800は、会社IDを入力するための会社ID入力欄801、ユーザIDを入力するためのユーザID入力欄802、パスワードを入力するためのパスワード入力欄803が表示されている。

【0038】

審議依頼者は、会社ID入力欄801に会社IDを、ユーザID入力欄802にユーザIDを、パスワード入力欄803にパスワードをそれぞれ入力した後、ログインボタン（図示略）を押下する。

【0039】

これにより、ステップSB2では、制御部502は、会社ID入力欄801に入力された会社IDが管理情報データベース630に登録されているか否かを判断する。この判断結果が「No」である場合、ステップSB7では、制御部502は、認証結果を会社IDエラーとして、図30に示したユーザIDエラー画面860を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。

【0040】

一方、ステップSB2の判断結果が「Yes」である場合、ステップSB3では、制御部502は、ユーザID入力欄802に入力されたユーザIDが管理情報データベース630に登録されているか否かを判断する。この判断結果が「No」である場合、ステップSB8では、制御部502は、認証結果をユーザIDエラーとして、図31に示したユーザIDエラー画面865を審議依頼者側クラ

クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。

【0041】

一方、ステップSB3の判断結果が「Yes」である場合、ステップSB4では、制御部502は、パスワード入力欄803に入力されたパスワードが管理情報データベース630に登録されているか否かを判断する。この判断結果が「No」である場合、ステップSB9では、制御部502は、認証結果をパスワードエラーとして、図32に示したパスワードエラー画面870を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。

【0042】

一方、ステップSB4の判断結果が「Yes」である場合、すなわち、全ての認証結果がOKである場合、ステップSB5では、制御部502は、ユーザプロフィール情報データベース600（図4参照）から当該審議依頼者に対応するユーザプロフィール情報を取得する。ステップSB6では、制御部502は、担当職制プロフィール情報データベース610（図5参照）から当該審議依頼者に対応する担当職制プロフィール情報を取得する。

【0043】

図8に戻り、ステップSA3では、制御部502は、図25に示したメニュー画面810を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。このメニュー画面810は、「文書作成」、「審議依頼」、「審議受付」および「審議結果処理」のなかからいずれかをユーザ（審議依頼者または審議者）に選択させるための画面である。

【0044】

「文書作成」、「審議依頼」および「審議結果処理」は、審議依頼者によりそれぞれ選択される。「文書作成」は、審議対象の文書等（規格、図面、文書等）を作成するためのメニューであり、文書作成ボタン811に対応している。「審議依頼」は、審議依頼者から審議者に対して、文書等の審議を依頼するためのメニューであり、審議依頼ボタン812に対応付けられている。

【0045】

「審議結果処理」は、審議結果を文書等に反映させるための審議結果に関する

処理を実行するためのメニューであり、審議結果処理ボタン814に対応付けられている。「審議受付」は、審議者により選択される。「審議受付」は、審議依頼者からの審議依頼を受け付けるためのメニューであり、審議受付ボタン813に対応付けられている。

## 【0046】

図8に戻り、ステップSA4では、制御部502は、図25に示した文書作成ボタン811が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSA5では、制御部502は、審議依頼ボタン812が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

## 【0047】

ステップSA6では、制御部502は、審議受付ボタン813が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSA7では、制御部502は、審議結果処理ボタン814が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSA8では、制御部502は、終了指示があるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、制御部502は、ステップSA4～ステップSA8の判断を繰り返す。

## 【0048】

ここで、審議依頼者により、文書作成ボタン811が押下されると、制御部502は、ステップSA4の判断結果を「Yes」とする。ステップSA9では、制御部502は、文書作成処理を実行する。

## 【0049】

具体的には、図10に示したSC1では、制御部502は、図26に示した文書作成画面820を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。この文書作成画面820は、当該審議依頼者に対応する担当職制プロフィール情報（図5参照）における担当業務を担当業務表示欄821に表示させ、業務プロセス選択欄822で業務プロセス（図2参照）としての「設計過程」、「製造過程」、「組み立て」、「試験過程」または「現地調整」のうちからいずれかを審議依頼者を選択させるための画面である。

## 【0050】



ステップSC2では、制御部502は、業務プロセス選択欄822で業務プロセスが選択されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。そして、審議依頼者により、業務プロセス選択欄822で業務プロセスが選択されると、制御部502は、ステップSC2の判断結果を「Yes」とする。

## 【0051】

ステップSC3では、制御部502は、審議依頼者からの入力操作に基づいて、審議対象の文書等（規格、図面、文書等）がすでに完成しているか否かを判断する。この判断結果が「No」である場合、ステップSC4では、制御部502は、当該審議依頼者に対応する担当職制プロフィール情報（図5参照）の担当業務をキーとして、XMLデータベース620から文書テンプレートを取得する。

## 【0052】

ステップSC5では、制御部502は、当該審議依頼者に対応するユーザプロフィール情報（図4参照）の担当業務および担当機種をキーとして、ステップSC4で取得された文書テンプレートを絞り込む。ステップSC6では、制御部502は、文書作成画面820の業務プロセス選択欄822（図26参照）で選択された業務プロセスをキーとして、ステップSC5で絞り込まれた文書テンプレートをさらに絞り込む。

## 【0053】

ステップSC7では、制御部502は、予め設定されたファイル形式の優先順位に基づいて、作成対象の文書のファイル形式を自動的に選択する。ステップSC8では、制御部502は、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>にインストールされている複数の文書作成ツールの中から、ステップSC7で選択されたファイル形式に対応する文書作成ツールを審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に検索させる。

## 【0054】

ステップSC9では、制御部502は、ステップSC8で検索された文書作成ツールを審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に起動させる。ステップSC10では、制御部502は、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に、最終的に絞りこまれた文書テンプレートを当該文書作成ツール上にフレーム（HTML、XML等

の画面)にて表示させる。

【0055】

これにより、審議依頼者は、担当職制プロファイル情報の担当業務、ユーザプロファイル情報の担当業務および担当機種、ならびに当該業務プロセスに対応する文書テンプレートを用いて、審議対象の文書を作成する。

【0056】

一方、ステップSC3の判断結果が「Yes」である場合、ステップSC11では、制御部502は、完成した文書に業務プロセスが表示されているか否かを判断する。この判断結果が「Yes」である場合、制御部502は、ステップSC13の処理を実行する。一方、ステップSC11の判断結果が「No」である場合、ステップSC12では、制御部502は、文書に対応付ける業務プロセスを検索するための業務プロセス検索処理を実行する。

【0057】

具体的には、図11に示したステップSD1では、制御部502は、当該審議依頼者に対応するユーザプロファイル情報を取得する。ステップSD2では、制御部502は、当該審議依頼者に対応する担当職制プロファイル情報を取得する。ステップSD3では、制御部502は、ユーザプロファイル情報および担当職制プロファイル情報に基づいて、業務プロセスのパターンを生成し、これに基づいて、図33に示した業務プロセス画面880を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。

【0058】

この業務プロセス画面880において、担当機種表示欄881には、ユーザプロファイル情報および担当職制プロファイル情報に対応する担当機種が表示される。担当業務表示欄882には、ユーザプロファイル情報および担当職制プロファイル情報に対応する担当業務が表示される。オブジェクト選択欄883は、審議対象のオブジェクト(規格、図面、文書)を選択するための欄である。

【0059】

また、同図には、「設計工程」→「製造工程」→「組み立て」→「試験工程」→「現地調整」という業務プロセスの流れを示す業務フローが図示されている。

設計工程オブジェクト一覧 884 は、設計工程のオブジェクト（規格、図面または文書）の一覧である。製造工程オブジェクト一覧 885 は、製造工程のオブジェクト（規格、図面または文書）の一覧である。

【0060】

組み立てオブジェクト一覧 886 は、組み立てのオブジェクト（規格、図面または文書）の一覧である。試験工程オブジェクト一覧 887 は、試験工程のオブジェクト（規格、図面または文書）の一覧である。現地調整オブジェクト一覧 888 は、現地調整のオブジェクト（規格、図面または文書）の一覧である。

【0061】

ステップSD4では、制御部502は、オブジェクト選択欄883で審議依頼者により規格が選択されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップSD5では、制御部502は、オブジェクト選択欄883で審議依頼者により図面が選択されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0062】

ステップSD6では、制御部502は、オブジェクト選択欄883で審議依頼者により文書が選択されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、制御部502は、ステップSD4～ステップSD6の判断を繰り返す。

【0063】

ここで、審議依頼者によりオブジェクト選択欄883で規格が選択されると、制御部502は、ステップSD4の判断結果を「Yes」とする。ステップSD7では、制御部502は、規格一覧表示処理を実行する。具体的には、図12に示したステップSE1では、制御部502は、図33に示した業務プロセス画面880より担当機種および担当業務の情報を取得する。ステップSE2では、担当機種および担当業務に応じたマトリクスより業務プロセスの規格一覧（設計工程オブジェクト一覧884等）を業務プロセス画面880に表示する。

【0064】

また、審議依頼者によりオブジェクト選択欄883で図面が選択されると、制

制御部502は、ステップSD5の判断結果を「Yes」とする。ステップSD8では、制御部502は、図面一覧表示処理を実行する。具体的には、図13に示したステップSF1では、制御部502は、図33に示した業務プロセス画面880より担当機種および担当業務の情報を取得する。ステップSF2では、担当機種および担当業務に応じたマトリクスより業務プロセスの図面一覧（設計工程オブジェクト一覧884等）を業務プロセス画面880に表示する。

【0065】

また、審議依頼者によりオブジェクト選択欄883で文書が選択されると、制御部502は、ステップSD6の判断結果を「Yes」とする。ステップSD9では、制御部502は、文書一覧表示処理を実行する。具体的には、図14に示したステップSG1では、制御部502は、図33に示した業務プロセス画面880より担当機種および担当業務の情報を取得する。ステップSG2では、担当機種および担当業務に応じたマトリクスより業務プロセスの文書一覧（設計工程オブジェクト一覧884等）を業務プロセス画面880に表示する。

【0066】

図11に戻り、ステップSD10では、制御部502は、業務プロセス画面880の業務プロセス内における一覧（設計工程オブジェクト一覧884等）の配列を変更するための業務プロセス内配列変更処理を実行する。

【0067】

具体的には、図16に示したステップSI1では、制御部502は、カウンタxを1とする。ステップSI2では、制御部502は、図36に示した業務プロセスf1～fnから業務プロセスfxを選択する。業務プロセスf1～fnは、図33に示した「設計工程」～「現地調整」に対応している。

【0068】

ステップSI3では、制御部502は、当該業務プロセスfxに引用される規格、図面または文書（具体的には、設計工程オブジェクト一覧884等）を取り出す。図36に示した例では、業務プロセスfxでは、オブジェクトA、B、…、N（規格、図面または文書）が引用される。ステップSI4では、制御部502は、規格、図面または文書（オブジェクト一覧）を、利用頻度に応じた重み

(w0、w1、w2、…、wn) 順に並べ替える。

【0069】

ステップSI5では、制御部502は、カウンタを1インクリメントする。ステップSI6では、制御部502は、カウンタxがnであるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0070】

以後、ステップSI2以降では、業務プロセスf2～fnのそれぞれについて配列が順次変更される。そして、ステップSI6の判断結果が「Yes」になると、ステップSI7では、制御部502は、業務プロセスf1～fnのそれぞれの配列変更後の規格、図面または文書の情報をXMLデータベース620に格納する。

【0071】

図11に戻り、ステップSD11では、制御部502は、図33に示した業務プロセス画面880の業務フローを変更するための業務フロー変更処理を実行する。具体的には、図15に示したステップSH1では、制御部502は、業務プロセスのフロー(f1、f2、f3：図34参照)を取得する。図34には、業務プロセスf1、f2およびf3からなる業務プロセスフローが図示されている。なお、同図では、説明を簡単にするため業務プロセスの数を3とした。

【0072】

ステップSH2では、制御部502は、図35に示したように、業務プロセスf1、f2、f3の組み合わせパターンを求める。それぞれのパターンには、パターン名P0～P5が付与される。つぎに、制御部502は、それぞれのパターンにおける業務パスをカウントする。図35には、カウント結果としてのカウンタC0～C5がそれぞれのパターン毎に図示されている。

【0073】

ステップSH3では、制御部502は、カウンタの大きい順(利用頻度の高い順)に業務フローを並べ替える。ステップSH4では、制御部502は、並べ替えの結果をXMLデータベース620に格納する。

【0074】

図10に戻り、ステップSC1.3では、制御部502は、完成した文書ファイル（規格、図面または文書）を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>から読み込む。ステップSC1.4では、制御部502は、ユーザID、担当業務、担当機種、担当モデルに対応付けて、文書ファイルをXMLファイルに変換する。ステップSC1.5では、制御部502は、XMLデータベース620にXMLファイルを格納する。また、制御部502は、当該XMLファイルを資料（技術文書等）として資料情報データベース410に格納する。

## 【0075】

つぎに、審議依頼者から審議者へオブジェクト（規格、図面または文書）を審議依頼する場合について説明する。この場合、審議依頼者は、図25に示した審議依頼ボタン812を押下する。これにより、制御部502は、ステップSA5の判断結果を「Yes」とし、ステップSA10で審議依頼処理を実行する。

## 【0076】

具体的には、図17に示したステップSJ1では、制御部502は、図27に示した審議依頼画面830を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。この審議依頼画面830は、先に作成されたオブジェクト（規格、図面、文書）の審議を審議者に依頼するための画面である。

## 【0077】

この審議依頼画面830において、審議依頼規格指定欄831は、審議依頼対象であるオブジェクトとしての規格を指定するための欄である。審議依頼図面指定欄832は、同オブジェクトとしての図面を指定するための欄である。審議依頼文書指定欄833は、同オブジェクトとしての文書を指定するための欄である。

## 【0078】

ステップSJ2では、制御部502は、審議依頼者により審議依頼対象のオブジェクトが指定されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。ここで、審議依頼者によりオブジェクトが指定されると、制御部502は、ステップSJ2の判断結果を「Yes」とする。

## 【0079】

ステップ S J 3 では、制御部 502 は、当該審議依頼者に対応するユーザプロフィール情報をユーザプロフィール情報データベース 600 から取得する。ステップ S J 4 では、制御部 502 は、当該審議依頼者に対応する担当職制プロフィール情報を担当職制プロフィール情報データベース 610 から取得する。

【0080】

ステップ S J 5 では、制御部 502 は、担当職制プロフィール情報データベース 610 から、審議依頼先の該当部門を検索する。ステップ S J 6 では、制御部 502 は、当該オブジェクトに対応する担当機種、担当業務、担当規格（または担当図面または担当文書）が担当職制プロフィール情報データベース 610 に存在するか否かを判断し、この判断結果が「No」である場合、ステップ S J 8 の判断を行う。ステップ S J 6 の判断結果が「No」である場合、制御部 502 は、ステップ S J 8 の判断を行う。

【0081】

一方、ステップ S J 6 の判断結果が「Yes」である場合、ステップ S J 7 では、制御部 502 は、担当職制プロフィール情報データベース 610（図 5 参照）の会社名、部門名、部長名および E メールアドレスに基づいて、図 37 に示した E メールアドレスリスト 900 を作成する。この E メールアドレスリスト 900 は、オブジェクトの審議依頼先に関するリストである。

【0082】

ステップ S J 8 では、制御部 502 は、全部門に関する検索が終了したか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、ステップ S J 5 ～ステップ S J 8 が繰り返され、オブジェクトの審議依頼先（各部門）の E メールアドレスが E メールアドレスリスト 900 に格納される。

【0083】

そして、ステップ S J 8 の判断結果が「Yes」になると、制御部 502 は、E メールアドレスリスト 900 の E メールアドレス宛（審議者側クライアント 300<sub>1</sub> ～ 300<sub>m</sub> のうち該当する審議者側クライアント）に、電子メール添付等により当該オブジェクト（規格、図面または文書）の審議依頼を出す。

【0084】

つぎに、審議依頼者からの審議依頼を審議者が受け付ける場合について説明する。この場合、上述したメールを受け取った審議者は、図25に示した審議受付ボタン813を押下する。これにより、制御部502は、ステップSA6の判断結果を「Yes」とし、ステップSA11で審議受付処理を実行する。

## 【0085】

具体的には、図18に示したステップSK1では、制御部502は、図28に示した審議受付画面840を、例えば、審議者側クライアント300<sub>1</sub>に表示させる。この審議受付画面840は、審議依頼者から依頼されたオブジェクト（規格、図面、文書）の審議を受け付けるための画面である。

## 【0086】

この審議受付画面840において、審議受付規格指定欄841は、審議受付対象であるオブジェクトとしての規格を指定するための欄である。審議受付図面指定欄842は、同オブジェクトとしての図面を指定するための欄である。審議受付文書指定欄843は、同オブジェクトとしての文書を指定するための欄である。

## 【0087】

ステップSK2では、制御部502は、審議受付画面840により審議受付対象のオブジェクトが指定されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。ここで、審議受付者によりオブジェクトが指定されると、制御部502は、ステップSK2の判断結果を「Yes」とする。

## 【0088】

ステップSK3では、制御部502は、当該審議者に対応するユーザプロフィール情報をユーザプロフィール情報データベース600から取得する。つぎに、制御部502は、ユーザプロフィール情報からプロパティ（ユーザID）を取得する。

## 【0089】

ステップSK4では、制御部502は、当該審議者に対応する担当職制プロフィール情報を担当職制プロフィール情報データベース610から取得する。つぎに、制御部502は、担当職制プロフィール情報からプロパティ（担当業務、担



当機種、担当モデル)を取得する。

【0090】

ステップSK5では、制御部502は、図28に示した審議受付規格指定欄841で規格が指定されたか否かを判断する。この場合、ステップSK5の判断結果が「Yes」であるとする、ステップSK8では、制御部502は、図33に示した審議受付対象のオブジェクト(この場合、規格)に関連する資料を表示するための規格表示処理を実行する。

【0091】

具体的には、図19に示したステップSL1では、制御部502は、業務プロセス画面880を当該審議者のクライアント(例えば、審議者側クライアント300<sub>1</sub>)に表示させる。この業務プロセス画面880には、当該審議者に審議依頼されたオブジェクト(この場合、規格)の情報が表示されている。

【0092】

ステップSL2では、制御部502は、業務プロセス画面880の引用文字部分(例えば、設計工程オブジェクト一覧884のそれぞれの部分)をクリックされたか否かを判断する。ここで、審議者により、設計工程オブジェクト一覧884のXXAAAがクリックされると、制御部502は、ステップSL2の判断結果を「Yes」とする。

【0093】

ステップSL3では、制御部502は、クリックされた文字部分に対応するタグの内容(キーワード)を、管理情報データベース630から取得する。すなわち、ステップSL3では、審議受付対象のオブジェクト(この場合、規格)に対応するXMLファイルからキーワードを抽出しているのである。

【0094】

ステップSL4では、制御部502は、図38に示したプロトコルファイル910に上記キーワードを格納する。ステップSL5では、制御部502は、検索サーバ400へプロトコルファイル910を送信する。検索サーバ400は、資料情報データベース410から当該キーワードを含む資料情報を検索する。この資料情報は、当該オブジェクト(この場合、規格)と関連性が高く、当該オブジ

ェクトの審議時に参照される資料に関する情報である。

【0095】

ステップSL6では、制御部502は、検索サーバ400からの検索結果情報を受信したか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。

【0096】

そして、検索サーバ400よりキーワードに対応する検索結果情報（資料情報）がデジタル文書審議装置500に受信されると、制御部502は、ステップSL6の判断結果を「Yes」とする。ステップSL7では、制御部502は、検索結果、すなわち、当該オブジェクト（この場合、規格）の審議時に参照される資料に関する検索結果を審議者側クライアント300<sub>1</sub>に表示させる。

【0097】

一方、ステップSL2の判断結果が「No」である場合、ステップSL8では、制御部502は、審議者により指定されたフリー検索用のキーワードを取得する。以後、ステップSL4以降では、上記キーワードに基づく処理が実行される。

【0098】

また、図18に示したステップSK5の判断結果が「No」である場合、ステップSK6では、制御部502は、審議者により図面が指定されたか否かを判断する。この判断結果が「Yes」であるとする、ステップSK9では、制御部502は、審議受付対象のオブジェクト（この場合、図面）に関連する資料を表示するための図面表示処理を実行する。

【0099】

具体的には、図20に示したステップSM1では、制御部502は、業務プロセス画面880を当該審議者のクライアント（例えば、審議者側クライアント300<sub>1</sub>）に表示させる。この業務プロセス画面880には、当該審議者に審議依頼されたオブジェクト（この場合、図面）の情報が表示されている。

【0100】

ステップSM2では、制御部502は、業務プロセス画面880の引用文字部

分（例えば、設計工程オブジェクト一覧 884 のそれぞれの部分）がクリックされたか否かを判断する。ここで、審議者により、設計工程オブジェクト一覧 884 の X X A A A がクリックされると、制御部 502 は、ステップ S M 2 の判断結果を「Y e s」とする。

【0101】

ステップ S M 3 では、制御部 502 は、クリックされた文字部分に対応するタグの内容（キーワード）を、管理情報データベース 630 から取得する。すなわち、ステップ S M 3 では、審議受付対象のオブジェクト（この場合、図面）に対応する X M L ファイルからキーワードを抽出しているのである。

【0102】

ステップ S M 4 では、制御部 502 は、図 38 に示したプロトコルファイル 910 に上記キーワードを格納する。ステップ S M 5 では、制御部 502 は、検索サーバ 400 へプロトコルファイル 910 を送信する。検索サーバ 400 は、資料情報データベース 410 から当該キーワードを含む資料情報を検索する。この資料情報は、当該オブジェクト（この場合、図面）と関連性が高く、当該オブジェクトの審議時に参照される資料に関する情報である。

【0103】

ステップ S M 6 では、制御部 502 は、検索サーバ 400 からの検索結果情報を受信したか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として、同判断を繰り返す。

【0104】

そして、検索サーバ 400 よりキーワードに対応する検索結果情報（資料情報）がデジタル文書審議装置 500 に受信されると、制御部 502 は、ステップ S M 6 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S M 7 では、制御部 502 は、検索結果、すなわち、当該オブジェクト（この場合、図面）の審議時に参照される資料に関する検索結果を審議者側クライアント 300<sub>1</sub> に表示させる。

【0105】

一方、ステップ S M 2 の判断結果が「N o」である場合、ステップ S M 8 では、制御部 502 は、審議者により指定されたフリー検索用のキーワードを取得す

る。以後、ステップSM4以降では、上記キーワードに基づく処理が実行される。

【0106】

また、図18に示したステップSK6の判断結果が「No」である場合、すなわち、審議者により文書が指定された場合、ステップSK10では、制御部502は、審議受付対象のオブジェクト（この場合、文書）に関連する資料を表示するための文書表示処理を実行する。

【0107】

具体的には、図21に示したステップSN1では、制御部502は、業務プロセス画面880を当該審議者のクライアント（例えば、審議者側クライアント300<sub>1</sub>）に表示させる。この業務プロセス画面880には、当該審議者に審議依頼されたオブジェクト（この場合、文書）の情報が表示されている。

【0108】

ステップSN2では、制御部502は、業務プロセス画面880の引用文字部分（例えば、設計工程オブジェクト一覧884のそれぞれの部分）がクリックされたか否かを判断する。ここで、審議者により、設計工程オブジェクト一覧884のXXAAAがクリックされると、制御部502は、ステップSN2の判断結果を「Yes」とする。

【0109】

ステップSN3では、制御部502は、クリックされた文字部分に対応するタグの内容（キーワード）を、管理情報データベース630から取得する。すなわち、ステップSN3では、審議受付対象のオブジェクト（この場合、文書）に対応するXMLファイルからキーワードを抽出しているのである。

【0110】

ステップSN4では、制御部502は、図38に示したプロトコルファイル910に上記キーワードを格納する。ステップSN5では、制御部502は、検索サーバ400へプロトコルファイル910を送信する。検索サーバ400は、資料情報データベース410から当該キーワードを含む資料情報を検索する。この資料情報は、当該オブジェクト（この場合、文書）と関連性が高く、当該オブジ

ェクトの審議時に参照される資料に関する情報である。

【0 1 1 1】

ステップSN 6では、制御部5 0 2は、検索サーバ4 0 0からの検索結果情報を受信したか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として、同判断を繰り返す。

【0 1 1 2】

そして、検索サーバ4 0 0よりキーワードに対応する検索結果情報（資料情報）がデジタル文書審議装置5 0 0に受信されると、制御部5 0 2は、ステップSN 6の判断結果を「Y e s」とする。ステップSN 7では、制御部5 0 2は、検索結果、すなわち、当該オブジェクト（この場合、文書）の審議時に参照される資料に関する検索結果を審議者側クライアント3 0 0<sub>1</sub>に表示させる。

【0 1 1 3】

一方、ステップSN 2の判断結果が「N o」である場合、ステップSN 8では、制御部5 0 2は、審議者により指定されたフリー検索用のキーワードを取得する。以後、ステップSN 4以降では、上記キーワードに基づく処理が実行される。

【0 1 1 4】

図1 8に戻り、ステップSK 7では、制御部5 0 2は、審議対象のオブジェクト（規格、図面または文書）の審議結果を、審議依頼者へ回答するための審議回答処理を実行する。具体的には、図2 2に示したステップSO 1では、制御部5 0 2は、審議依頼者から審議者へ審議依頼されたオブジェクト（規格、図面または文書）のページ（原文）を審議者側クライアント3 0 0<sub>1</sub>に表示させる。ここで、表示される原文は、例えば、図3 9（a）に示した原文行に記述された「当設計・製造情報は、設計の効率化・・・」である。

【0 1 1 5】

ステップSO 2では、制御部5 0 2は、当該ページの審議（原文に対する修正等）が終了したか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として、同判断を繰り返す。

【0 1 1 6】

審議者は、図39(a)に示した原文のうち、修正行に示したように「情報」を「知識」に修正(修正1)する。なお、同オブジェクトの審議を依頼された他の審議者によっても、審議(修正等)が行われる。図39(a)に示した修正2では、原文の「効率化」が「改善を」に修正されている。

## 【0117】

そして、審議者により当該ページの審議が終了すると、制御部502は、ステップS02の判断結果を「Yes」とする。ステップS03では、制御部502は、当該オブジェクトの全ページの審議が終了したか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。ステップS05では、制御部502は、つぎのページ(原文)を審議者側クライアント300<sub>1</sub>にスクロール表示させる。以後、ステップS02、ステップS03およびステップS05が繰り返され、審議が行われる。

## 【0118】

そして、ステップS03の判断結果が「Yes」になると、ステップS04では、制御部502は、審議依頼元(この場合、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>)へ上述した審議(修正等)の内容を表す審議回答メールを送信する。なお、制御部502は、その他の審議依頼元へも審議回答メールを送信する。

## 【0119】

つぎに、審議終了後に、審議結果(修正等)をオブジェクト(規格、図面または文書)の原文に反映させる場合について説明する。審議依頼者は、図25に示した審議結果処理814を押下する。これにより、制御部502は、ステップSA7の判断結果を「Yes」とし、ステップSA12で審議結果処理を実行する。

## 【0120】

具体的には、図23に示したステップSP1では、制御部502は、図29に示した審議結果処理画面850を審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>に表示させる。この審議結果処理画面850は、審議結果(修正等)をオブジェクト(規格、図面または文書)の原文に反映させる場合に表示される画面である。

## 【0121】

この審議結果処理画面 850 において、審議結果処理規格指定欄 851 は、審議結果処理対象であるオブジェクトとしての規格を指定するための欄である。審議結果処理図面指定欄 852 は、審議結果処理対象であるオブジェクトとしての図面を指定するための欄である。審議結果処理文書指定欄 853 は、審議結果処理対象であるオブジェクトとしての文書を指定するための欄である。

## 【0122】

ステップ SP2 では、制御部 502 は、審議結果処理画面 850 により審議受付対象のオブジェクトが指定されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。ここで、審議者によりオブジェクトが指定されると、制御部 502 は、ステップ SP2 の判断結果を「Yes」とする。

## 【0123】

ステップ SP3 では、制御部 502 は、XML データベース 620 を参照して、当該オブジェクト（規格、図面または文書）に対応する原文を図 39（a）に示した原文反映画面 920 の原文行に表示させる。ステップ SP4 では、制御部 502 は、原文（「情報」）に対応させて修正（この場合、修正 1：「知識」）を修正行に表示させる。

## 【0124】

ステップ SP5 では、制御部 502 は、他部門の修正があるか否かを判断し、この場合、判断結果を「Yes」とする。ステップ SP4 では、制御部 502 は、原文行の原文（「効率化」）に対応させて修正（この場合、修正 2：「改善を」）を修正行に表示させる。ステップ SP5 では、制御部 502 は、他部門の修正があるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

## 【0125】

ステップ SP6 では、制御部 502 は、前述した業務プロセス検索処理（図 11 参照）を実行する。ステップ SP7 では、制御部 502 は、図 39（a）に示した修正部分がクリックされたか否かを判断する。ここで、審議依頼者により、修正 1 の「知識」がクリックされると、制御部 502 は、ステップ SP7 の判断結果を「Yes」とする。

## 【0126】

ステップSP8では、制御部502は、図39(b)に示したように、修正1の「知識」を原文に反映させる。ステップSP9では、制御部502は、図39(a)に示した原文反映画面920において他の修正部分がクリックされたか否かを判断する。ここで、審議依頼者により、修正2の「改善を」がクリックされると、制御部502は、ステップSP9の判断結果を「Yes」とする。

## 【0127】

ステップSP8では、制御部502は、図39(c)に示したように、修正2の「改善を」を原文に反映させる。そして、ステップSP9の判断結果が「No」になると、ステップSP10では、制御部502は、当該ページの審議結果を全てチェックしたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

## 【0128】

ステップSP12では、制御部502は、画面スクロールにてつぎのページを表示させる。以後、つぎのページ以降に関して、原文に修正が反映される。そして、ステップSP10の判断結果が「Yes」である場合、ステップSP11では、制御部502は、修正結果（修正内容、修正後の原文等）を、フレーズ（キーワード）にXMLのタグを付し、XMLデータベース620に格納する。

## 【0129】

以上説明したように、一実施の形態によれば、審議文書としてのオブジェクト（規格、図面または文書）に対応する業務プロセスおよび属性情報（ユーザプロフィール情報、担当職制プロフィール情報）をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、依頼対象のオブジェクトを作成させているので、業務プロセスに対応付けて迅速に審議文書の作成および依頼を行うことができる。

## 【0130】

また、一実施の形態によれば、テンプレートが、業務フローをなす複数の業務プロセスのそれぞれに対応させて複数用意されているので、業務フローから必要な業務プロセスを選択し、さらにこの業務プロセスおよび属性情報をキーとしてテンプレートを審議依頼者へ提供することができる。

## 【0131】



また、一実施の形態によれば、ユーザへの情報開示に関して、属性情報（ユーザプロフィール情報、担当職制プロフィール情報）に基づきユーザの立場が反映された各種情報を開示させているので、ユーザに必要な情報を的確に開示することができる。

【 0 1 3 2 】

また、一実施の形態によれば、図 3 7 に示したように、オブジェクトの依頼先が E メールアドレスリスト 9 0 0 で自動設定されるため、オブジェクトの依頼をさらに迅速に行うことができる。

【 0 1 3 3 】

また、一実施の形態によれば、業務プロセスに応じて、依頼されたオブジェクトを審議者に審議させるため、審議者側においても審議を迅速に行うことができる。

【 0 1 3 4 】

また、一実施の形態によれば、依頼されたオブジェクトと関連性がある複数の資料情報の中から審議者により指定された資料情報を検索サーバ 4 0 0 に検索させ、オブジェクトの審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供しているため、審議に必要な資料を探す手間が省け、さらに審議を迅速に行うことができる。

【 0 1 3 5 】

また、一実施の形態によれば、図 1 6 を参照して説明したように、業務フローをなす業務プロセス毎に複数の資料情報を利用頻度順に並べ替えて審議者に開示しているため、審議者が当該資料を指定する時間を短縮することができる。

【 0 1 3 6 】

また、一実施の形態によれば、図 1 5 を参照して説明したように、業務フローにおける業務プロセスを利用頻度に応じて並べ替えているため、的確な業務プロセスの情報を審議者へ提供することができる。

【 0 1 3 7 】

以上本発明にかかる一実施の形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成例はこの一実施の形態に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱

しない範囲の設計変更等があっても本発明に含まれる。

【0138】

例えば、前述した一実施の形態においては、デジタル文書審議装置500、審議依頼者側クライアント100<sub>1</sub>～100<sub>n</sub>または審議者側クライアント300<sub>1</sub>～300<sub>m</sub>の機能を実現するためのプログラムを図40に示したコンピュータ読み取り可能な記録媒体200に記録して、この記録媒体200に記録されたプログラムを同図に示したコンピュータ1000に読み込ませ、実行することにより前述した機能を実現してもよい。

【0139】

コンピュータ1000は、上記プログラムを実行するCPU1010と、キーボード、マウス等の入力装置1020と、各種データを記憶するROM (Read Only Memory) 1030と、演算パラメータ等を記憶するRAM (Random Access Memory) 1040と、記録媒体200からプログラムを読み取る読取装置1050と、ディスプレイ、プリンタ等の出力装置1060と、装置各部を接続するバス1070とから構成されている。

【0140】

CPU1010は、読取装置1050を経由して記録媒体200に記録されているプログラムを読み込んだ後、プログラムを実行することにより、前述した機能を実現する。なお、記録媒体200には、光ディスク、フロッピーディスク、ハードディスク等の可搬型の記録媒体が含まれることはもとより、ネットワークのようにデータを一時的に記録保持するような伝送媒体も含まれる。

【0141】

(付記1) デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納手段と、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段と

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供手段と、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成手段と

前記審議文書作成手段により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼手段と、

を備えたことを特徴とするデジタル文書審議装置。

(付記2) 前記テンプレートは、業務フローをなす複数の業務プロセスのそれぞれに対応させて複数設けられていることを特徴とする付記1に記載のデジタル文書審議装置。

(付記3) ユーザへの情報開示に関して、前記ユーザの属性情報に基づきユーザの立場が反映された各種情報を開示させる制御を行う情報開示制御手段を備えたことを特徴とする付記1または2に記載のデジタル文書審議装置。

(付記4) 前記審議依頼手段は、前記属性情報に基づいて、前記審議文書の依頼先を自動設定することを特徴とする付記1～3のいずれか一つに記載のデジタル文書審議装置。

(付記5) 前記業務プロセスに応じて、前記審議依頼手段より依頼された前記審議文書を前記審議者に審議させる審議手段を備えたことを特徴とする付記1～4のいずれか一つに記載のデジタル文書審議装置。

(付記6) 前記審議依頼手段より依頼された前記審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から前記審議者により指定された資料情報を検索する検索手段と、前記審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供手段とを備えたことを特徴とする付記1～5のいずれか一つに記載のデジタル文書審議装置。

(付記7) 前記検索手段は、前記業務フローをなす業務プロセス毎に複数の資料情報を利用頻度順に並べ替えて前記審議者に開示することを特徴とする付記6に記載のデジタル文書審議装置。

(付記8) 前記検索手段は、前記業務フローにおける業務プロセスを利用頻度に応じて並べ替えることを特徴とする付記7に記載のデジタル文書審議装置。

(付記9) 前記審議文書の審議結果を原本としての審議文書に反映させ、各フレーズ毎にタグ付けを行いデータベースに格納することを特徴とする付記1～8の

いずれか一つに記載のデジタル文書審議装置。

(付記10) デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納工程と、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供工程と、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成工程と

複数の資料情報を蓄積する資料情報蓄積工程と、

前記審議文書作成工程により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼工程と、

前記審議依頼工程より依頼された前記審議文書と関連性がある資料情報を前記複数の資料情報から検索する検索工程と、

前記審議文書の審議に際して前記検索工程で検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供工程と、

を含むことを特徴とするデジタル文書審議方法。

(付記11) デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納工程と、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納工程と

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供工程と、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成工程と

前記審議文書作成工程により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼工程と、

前記審議依頼工程で依頼された前記審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から前記審議者により指定された資料情報を検索する検索工程と、

前記審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供工程と、

前記業務プロセスに応じて、前記審議依頼工程で依頼された前記審議文書を前記審議者に審議させる審議工程と、

を含むことを特徴とするデジタル文書審議方法。

(付記12) コンピュータを、

デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納手段、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段、

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供手段、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成手段、

前記審議文書作成手段により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼手段、

として機能させるためのデジタル文書審議プログラム。

(付記13) コンピュータを、

デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納手段、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段、

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供手段、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成手段、

複数の資料情報を蓄積する資料情報蓄積手段、

前記審議文書作成手段により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼手段、

前記審議依頼手段より依頼された前記審議文書と関連性がある資料情報を前記蓄積手段から検索する検索手段、

前記審議文書の審議に際して前記検索手段で検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供手段、

として機能させるためのデジタル文書審議プログラム。

(付記 1 4) コンピュータを、

デジタル化された審議文書を審議文書データベースに格納する審議文書格納手段、

ユーザの属性情報を属性情報データベースとして格納する属性情報格納手段、

前記審議文書に対応する業務プロセスおよび前記属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて前記ユーザとしての審議依頼者へ提供するテンプレート提供手段、

前記テンプレートに基づいて、前記審議文書を作成させる審議文書作成手段、

前記審議文書作成手段により作成された審議文書の審議を前記ユーザである審議者へ依頼する審議依頼手段、

前記審議依頼手段で依頼された前記審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から前記審議者により指定された資料情報を検索する検索手段、

前記審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供する資料情報提供手段、

前記業務プロセスに応じて、前記審議依頼手段より依頼された前記審議文書を前記審議者に審議させる審議手段、

として機能させるためのデジタル文書審議プログラム。

【 0 1 4 2 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、審議文書に対応する業務プロセスおよび属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、依頼対象の審議文書を作成させているので、業務プロセスに対応付けて迅速に審議文書の作成および依頼を行うことができるという効果を奏する。

【 0 1 4 3 】

また、本発明によれば、テンプレートが、業務フローをなす複数の業務プロセスのそれぞれに対応させて複数設けられているので、業務フローから必要な業務プロセスを選択し、さらにこの業務プロセスおよび属性情報をキーとしてテンプレートを審議依頼者へ提供することができるという効果を奏する。

【 0 1 4 4 】

また、本発明によれば、ユーザへの情報開示に関して、ユーザの属性情報に基づきユーザの立場が反映された各種情報を開示させているので、ユーザに必要な情報を的確に開示することができるという効果を奏する。

【 0 1 4 5 】

また、本発明によれば、属性情報に基づいて、審議文書の依頼先が自動設定されるため、審議文書の依頼をさらに迅速に行うことができるという効果を奏する。

【 0 1 4 6 】

また、本発明によれば、業務プロセスに応じて、依頼された審議文書を審議者に審議させるため、審議者側においても審議を迅速に行うことができるという効果を奏する。

【 0 1 4 7 】

また、本発明によれば、依頼された審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から審議者により指定された資料情報を検索し、審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供しているため、審議に必要な資料を探す手間が省け、さらに審議を迅速に行うことができるという効果を奏する。

【 0 1 4 8 】

また、本発明によれば、業務フローをなす業務プロセス毎に複数の資料情報を利用頻度順に並べ替えて審議者に開示しているため、審議者が当該資料を指定する時間を短縮することができるという効果を奏する。

【 0 1 4 9 】

また、本発明によれば、業務フローにおける業務プロセスを利用頻度に応じて並べ替えているため、的確な業務プロセスの情報を審議者へ提供することができ

るという効果を奏する。

【0150】

また、本発明によれば、審議文書に対応する業務プロセスおよび属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、依頼対象の審議文書を作成させているので、業務プロセスに対応付けて迅速に審議文書の作成および依頼を行うことができ、さらに、審議文書の審議に際して、検索された資料情報を審議者へ提供しているため、審議に必要な資料を探す手間が省け、さらに審議を迅速に行うことができるという効果を奏する。

【0151】

また、本発明によれば、審議文書に対応する業務プロセスおよび属性情報をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、依頼対象の審議文書を作成させているので、業務プロセスに対応付けて迅速に審議文書の作成および依頼を行うことができ、さらに、審議文書の審議に際して、審議文書と関連性がある複数の資料情報の中から審議者により指定された資料情報を審議者へ提供しているため、審議に必要な資料を探す手間が省け、さらに審議を迅速に行うことができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図2】

同一実施の形態の概要を説明する図である。

【図3】

図1に示した資料情報データベース410の構成を示す図である。

【図4】

図1に示したユーザプロフィール情報データベース600のテーブル構造を示す図である。

【図5】

図1に示した担当職制プロフィール情報データベース610のテーブル構造を



示す図である。

【図 6】

図 1 に示した XML データベース 620 の構成を示す図である。

【図 7】

同一実施の形態における XML ファイル 700 の一例を示す図である。

【図 8】

同一実施の形態の動作を説明するフローチャートである。

【図 9】

図 8 に示した認証処理を説明するフローチャートである。

【図 10】

図 8 に示した文書作成処理を説明するフローチャートである。

【図 11】

図 10 に示した業務プロセス検索処理を説明するフローチャートである。

【図 12】

図 11 に示した規格一覧表示処理を説明するフローチャートである。

【図 13】

図 11 に示した図面一覧表示処理を説明するフローチャートである。

【図 14】

図 11 に示した文書一覧表示処理を説明するフローチャートである。

【図 15】

図 11 に示した業務プロセスフロー変更処理を説明するフローチャートである。

【図 16】

図 11 に示した業務プロセス内配列変更処理を説明するフローチャートである。

【図 17】

図 8 に示した審議依頼処理を説明するフローチャートである。

【図 18】

図 8 に示した審議受付処理を説明するフローチャートである。

【図 19】

図 18 に示した規格表示処理を説明するフローチャートである。

【図 20】

図 18 に示した図面表示処理を説明するフローチャートである。

【図 21】

図 18 に示した文書表示処理を説明するフローチャートである。

【図 22】

図 18 に示した審議回答処理を説明するフローチャートである。

【図 23】

図 8 に示した審議結果処理を説明するフローチャートである。

【図 24】

同一実施の形態における認証画面 800 の一例を示す図である。

【図 25】

同一実施の形態におけるメニュー画面 810 の一例を示す図である。

【図 26】

同一実施の形態における文書作成画面 820 を示す図である。

【図 27】

同一実施の形態における審議依頼画面 830 を示す図である。

【図 28】

同一実施の形態における審議受付画面 840 を示す図である。

【図 29】

同一実施の形態における審議結果処理画面 850 を示す図である。

【図 30】

同一実施の形態における会社 ID エラー画面 860 を示す図である。

【図 31】

同一実施の形態におけるユーザ ID エラー画面 865 を示す図である。

【図 32】

同一実施の形態におけるパスワードエラー画面 870 を示す図である。

【図 33】

同一実施の形態における業務プロセス画面 8 8 0 を示す図である。

【図 3 4】

図 1 5 に示した業務プロセスフロー変更処理を説明する図である。

【図 3 5】

図 1 5 に示した業務プロセスフロー変更処理を説明する図である。

【図 3 6】

図 1 6 に示した業務プロセス内配列変更処理を説明する図である。

【図 3 7】

同一実施の形態における E メールアドレスリスト 9 0 0 を示す図である。

【図 3 8】

同一実施の形態におけるプロトコルファイル 9 1 0 を示す図である。

【図 3 9】

図 2 3 に示した審議結果処理を説明する図である。

【図 4 0】

同一実施の形態の変形例を示すブロック図である。

【図 4 1】

従来の書面審議の流れを説明する図である。

【符号の説明】

1 0 0<sub>1</sub> ~ 1 0 0<sub>n</sub> 審議依頼者側クライアント

3 0 0<sub>1</sub> ~ 3 0 0<sub>m</sub> 審議者側クライアント

4 0 0 検索サーバ

5 0 0 デジタル文書審議装置

5 0 2 制御部

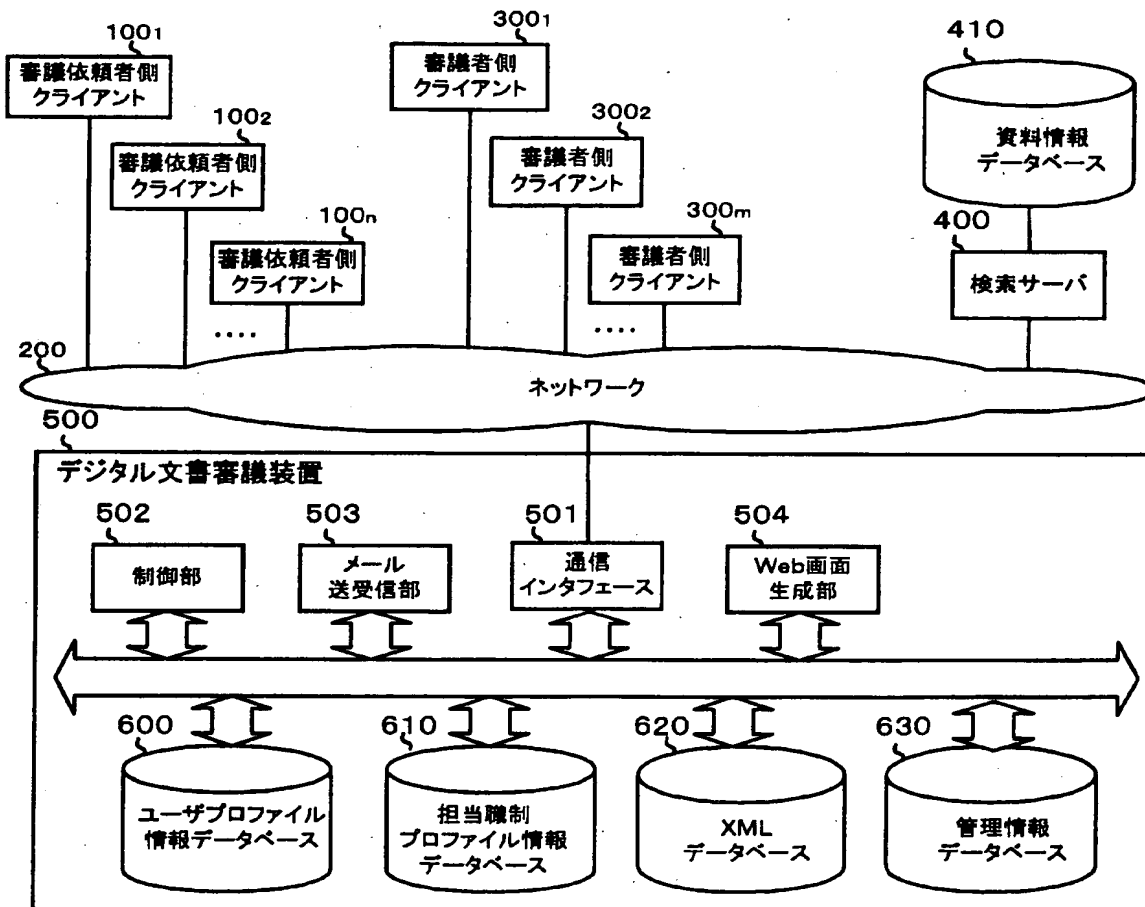
5 0 3 メール送受信部

5 0 4 W e b 画面生成部

【書類名】 図面

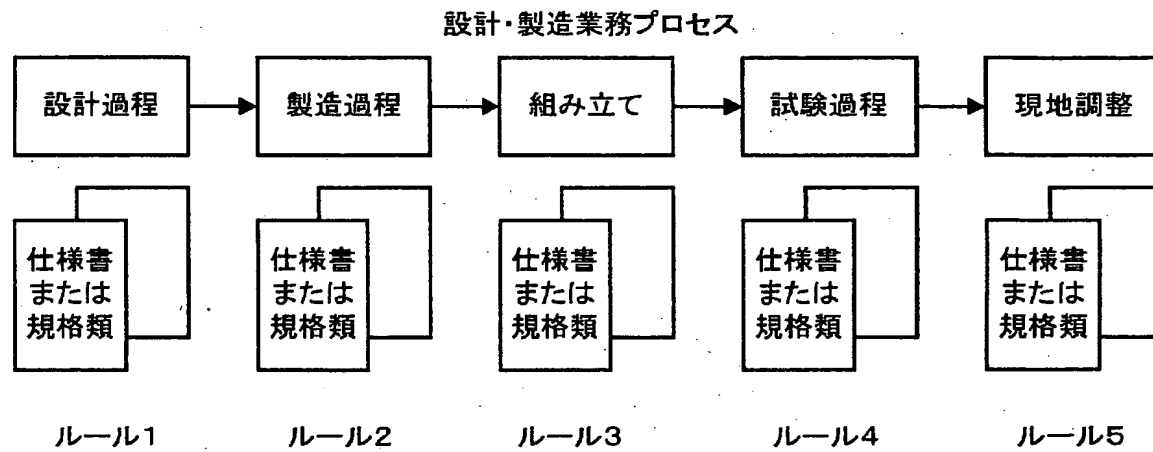
【図 1】

一実施の形態の構成を示すブロック図



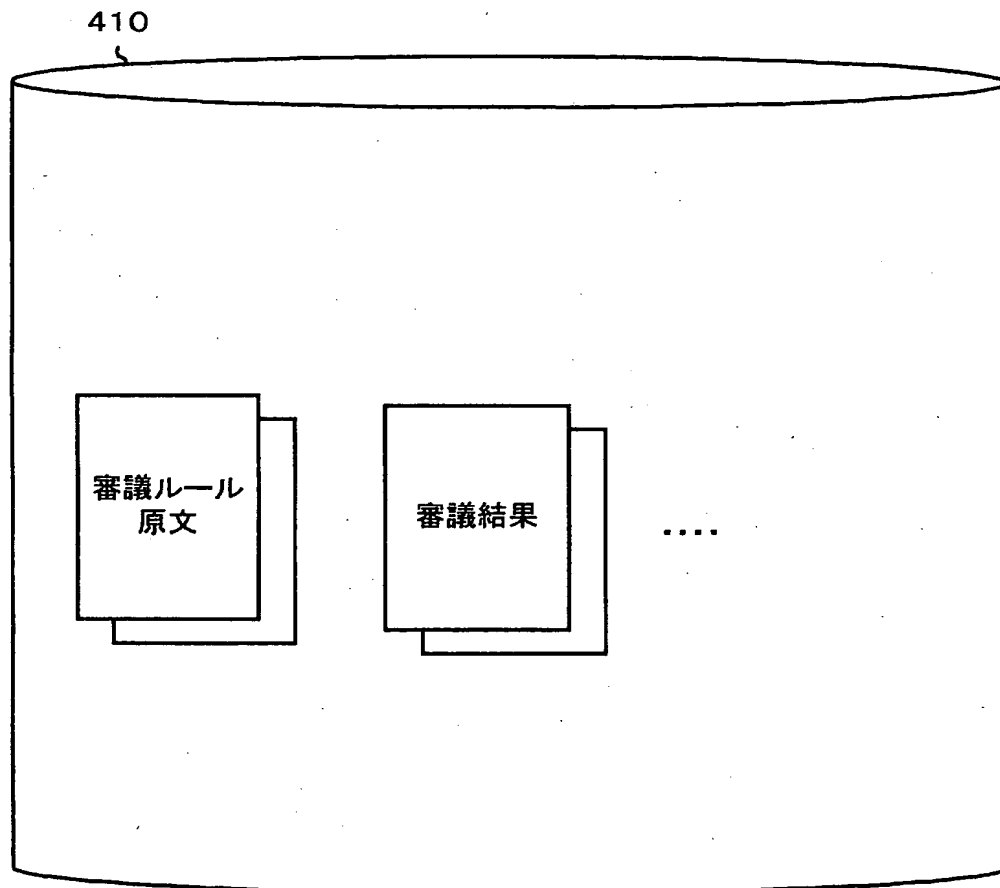
【図 2】

一実施の形態の概要を説明する図



【図 3】

図1に示した資料情報データベース410の構成を示す図



【図 4】

図1に示したユーザプロフィール情報データベース600のテーブル構造を示す図

600

ユーザID	× × ×	
氏名	× × ×	
従業員番号	× × ×	
職制	・	
役職	・	
電話番号		
Eメールアドレス		
取得資格		
担当業務		
担当機種	・	
担当モデル	・	
担当規格	× × ×	
担当図面	× × ×	
担当文書	× × ×	

【図 5】

図1に示した担当職制プロフィール情報データベース610のテーブル構造を示す図

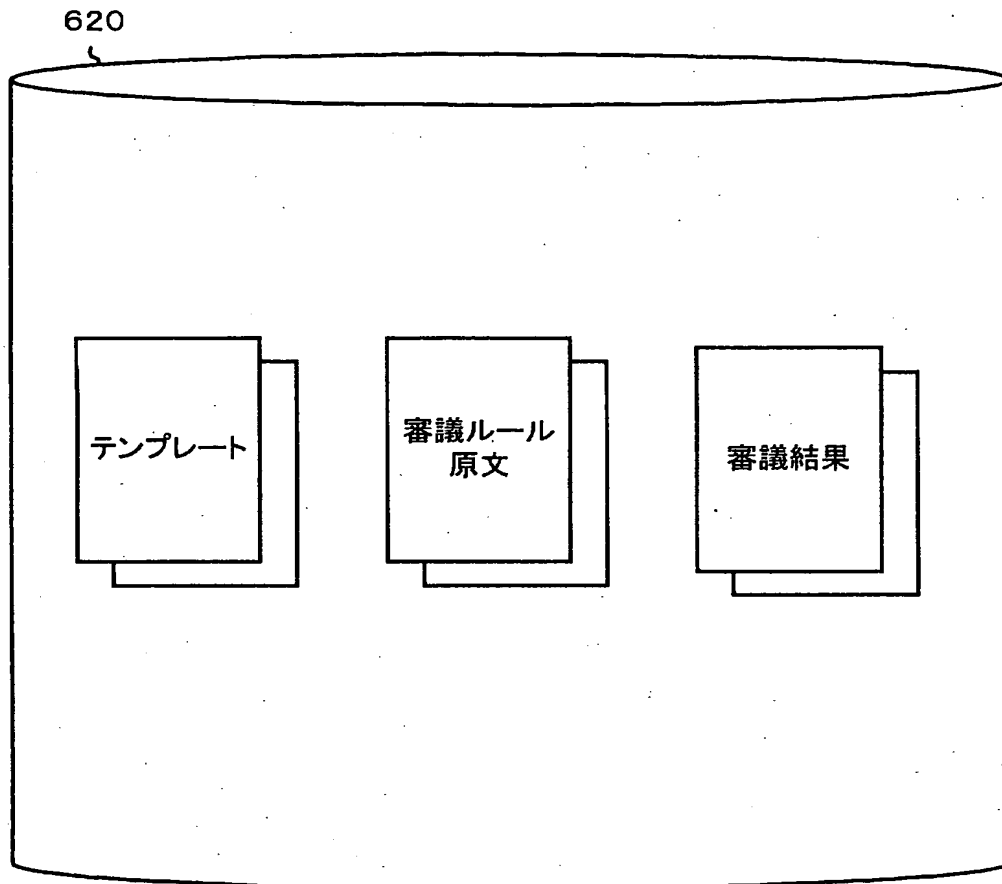
610

会社名	× × ×	
本部名	× × ×	
事業部名	× × ×	
部門名	・	
部長名	・	
電話番号		
Eメールアドレス		
担当業務	・	
担当機種	・	
担当規格	× × ×	
担当図面	× × ×	
担当文書	× × ×	



【図 6】

図1に示したXMLデータベース620の構成を示す図



【図 7】

一実施の形態におけるXMLファイル700の一例を示す図

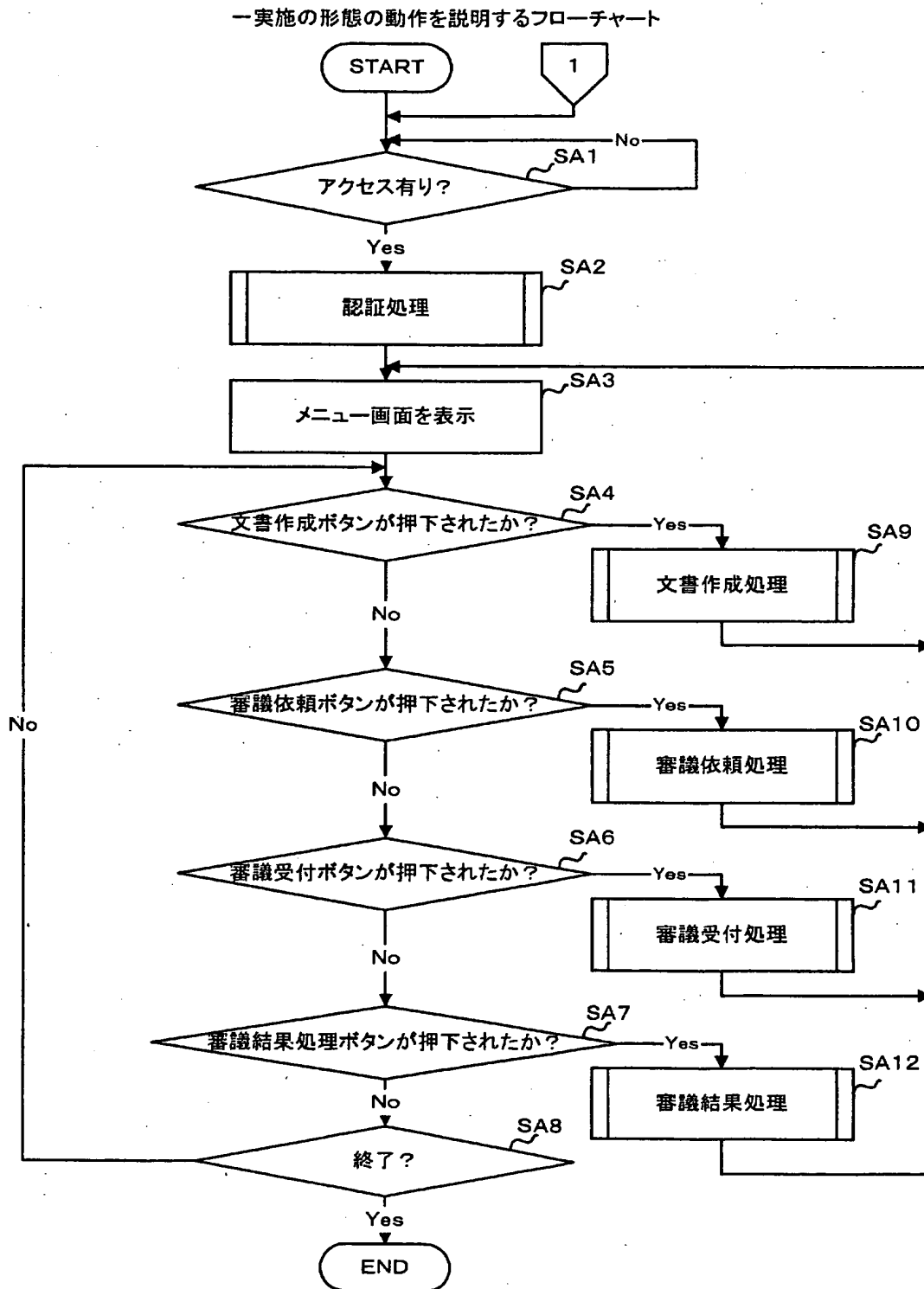
700

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE Answer SYSTEM "../dtd/Answer.dtd" >
<AnswerList>
  <Answer id="default">
    <ReqEntCd>1 0 6 8</ReqEntCd>
    <ReqEntNm>〇〇事業統括部</ReqEntNm>
    <ReqSecCd>1 4 3 4</ReqSecCd>
    <ReqSecNm>××管理部</ReqSecNm>
    <ReqChargeCd>3 1 6 8</ReqChargeCd>
    <ReqChargeNm>富士通太郎</ReqChargeNm>
    <ReqPosit>リーダ</ReqPosit>
    <ReqMailAdd>fujitsu</ReqMailAdd>
    <Reply id="1 4 3 4">
      <AnsYmd>2 0 0 1 . 3 . 8</AnsYmd>
      <DelibNo>CN-1 2 3-0 0 0 6</DelibNo>
      <DelibSubj>「開発ネーム登録規定」の書面審議について<
/DelibSubj>
      <DelibNm>開発ネーム登録規定</DelibNm>
      <DelibConc>0</DelibConc>
      <ModifList>
        <Modif>
          <ModifPage>0</ModifPage>
          <ModifPlace>default</ModifPlace>
          <OrgBody>default</OrgBody>
          <ModifCont>default</ModifCont>
        </Modif>
      </ModifList>
      <AnsChargeCd>3 1 6 8</AnsChargeCd>
      <AnsChargeNm>富士通太郎</AnsChargeNm>
      <AnsPosit>default</AnsPosit>
      <AnsTel>7 1 1 2 2</AnsTel>
      <AnsMailAdd>fujitsu@xxx.fujitsu.co.jp</AnsMailAdd>
    </Reply>
  </Answer>
</AnswerList>

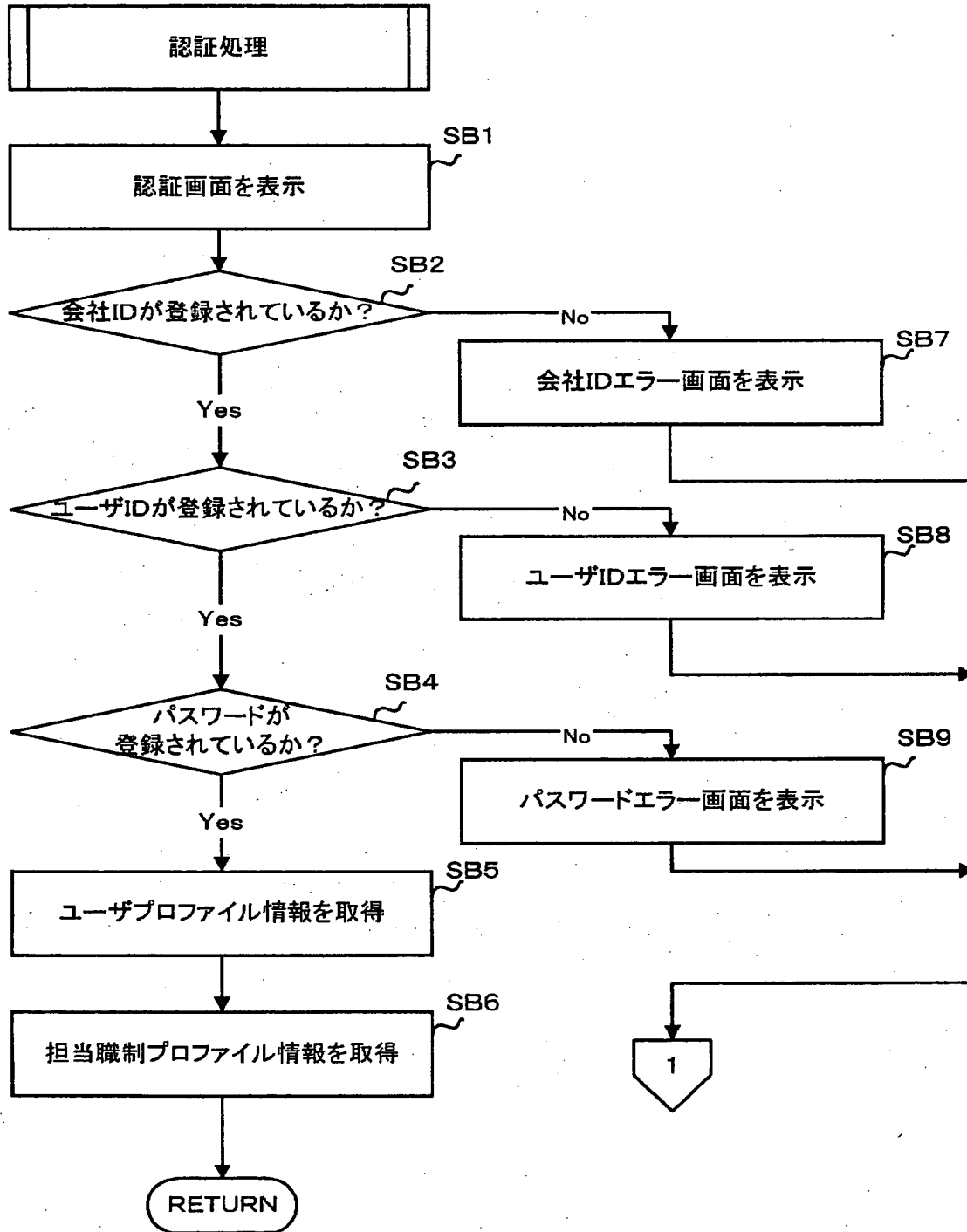
```

【図 8】



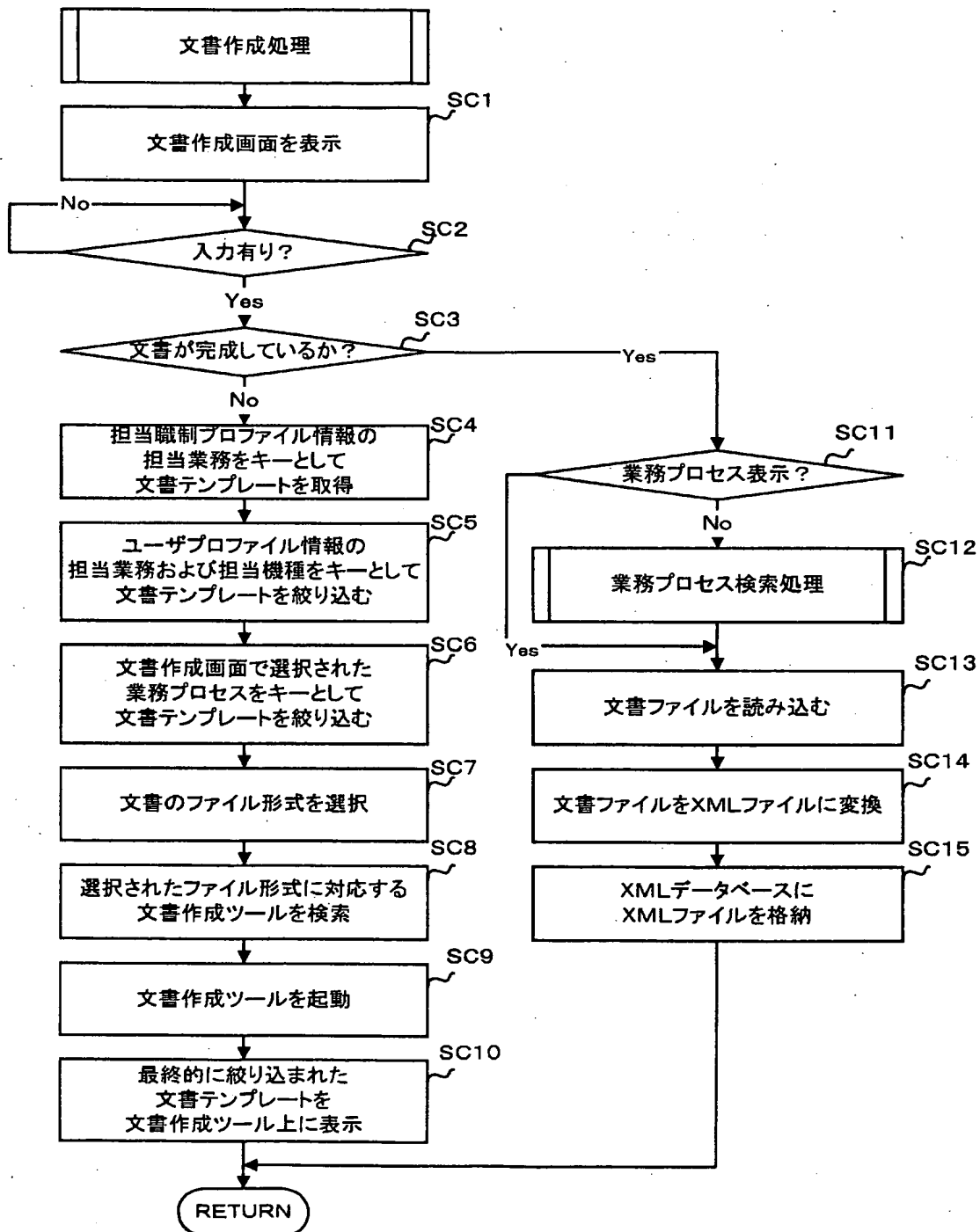
【図 9】

図8に示した認証処理を説明するフローチャート



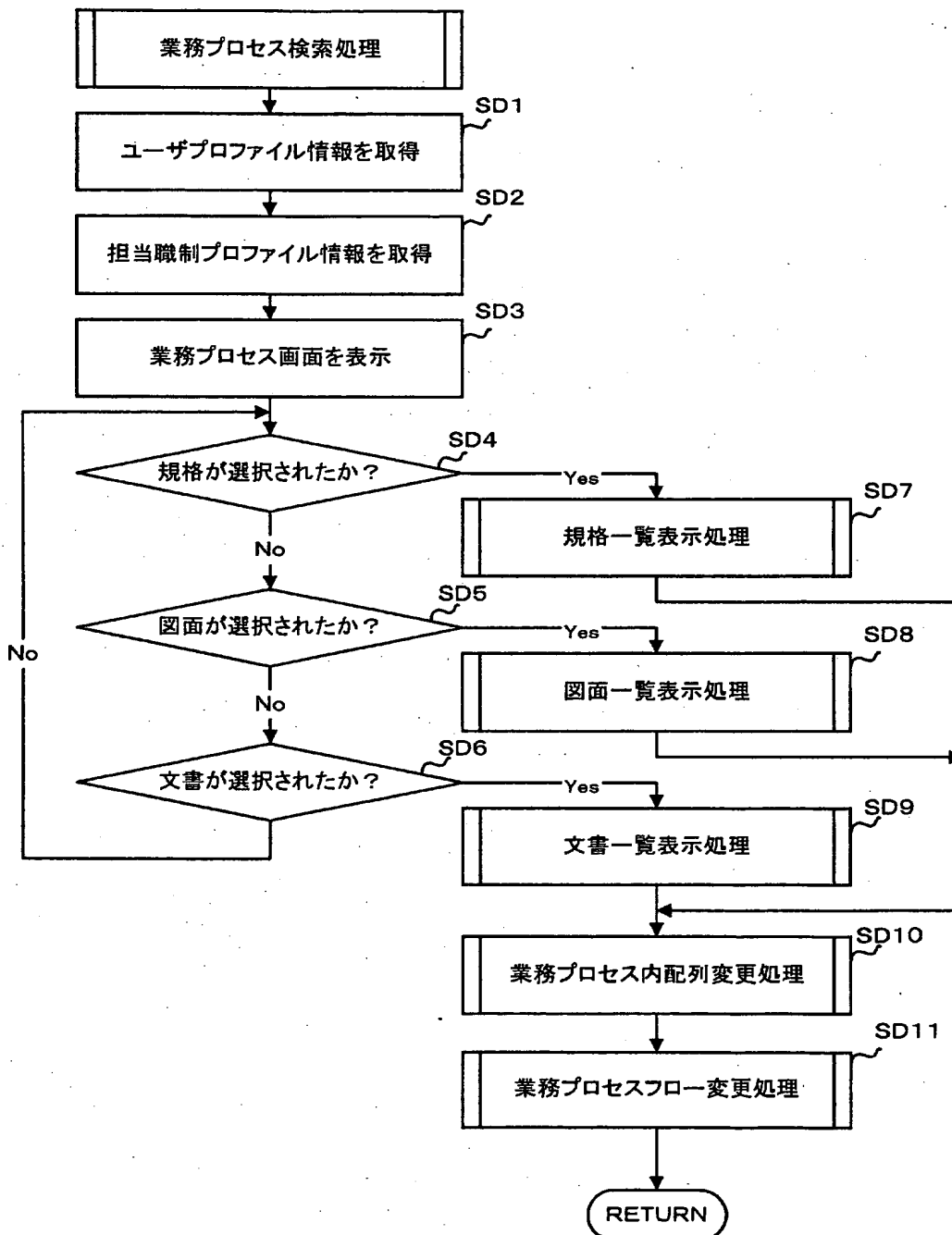
【図10】

図8に示した文書作成処理を説明するフローチャート



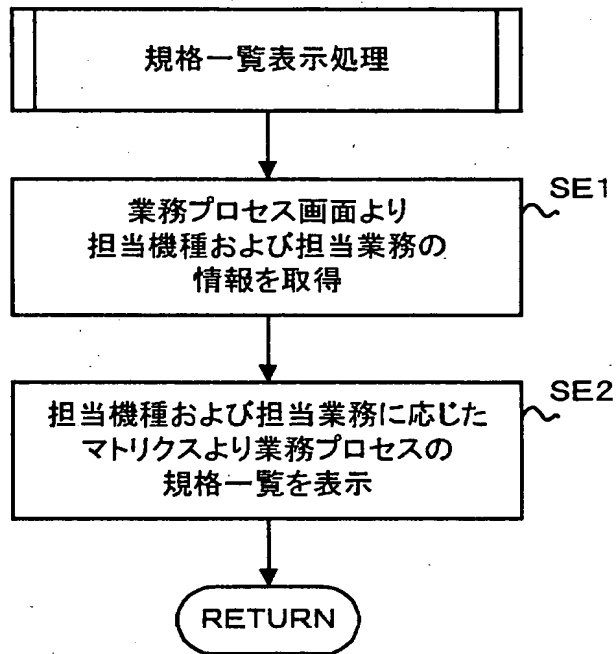
【図 11】

図10に示した業務プロセス検索処理を説明するフローチャート



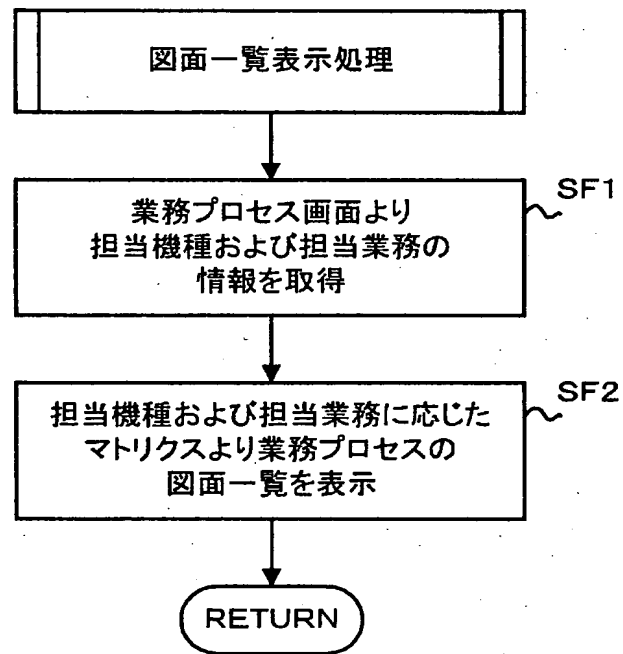
【図 1 2】

図11に示した規格一覧表示処理を説明するフローチャート



【図 1 3】

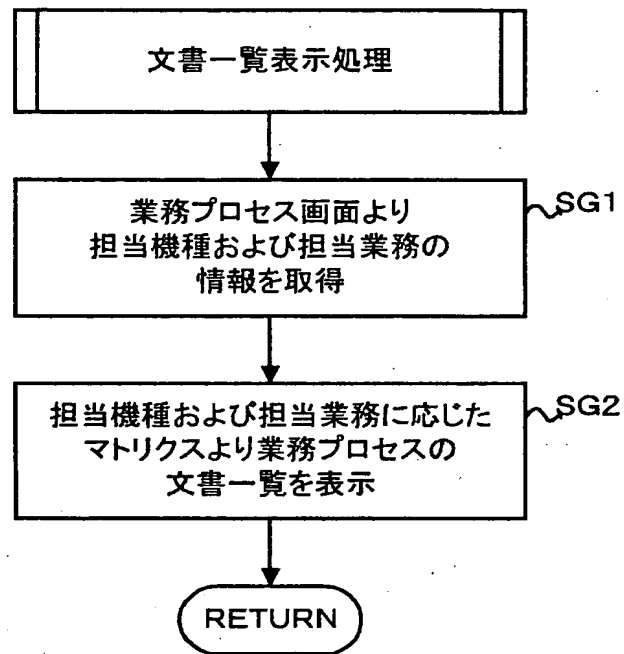
図11に示した図面一覧表示処理を説明するフローチャート





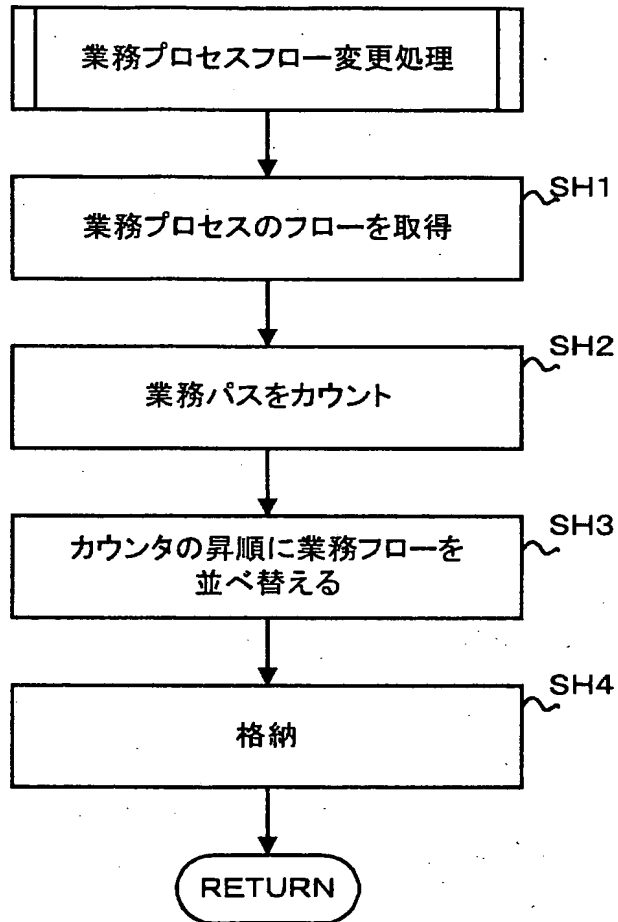
【図 1 4】

図11に示した文書一覧表示処理を説明するフローチャート



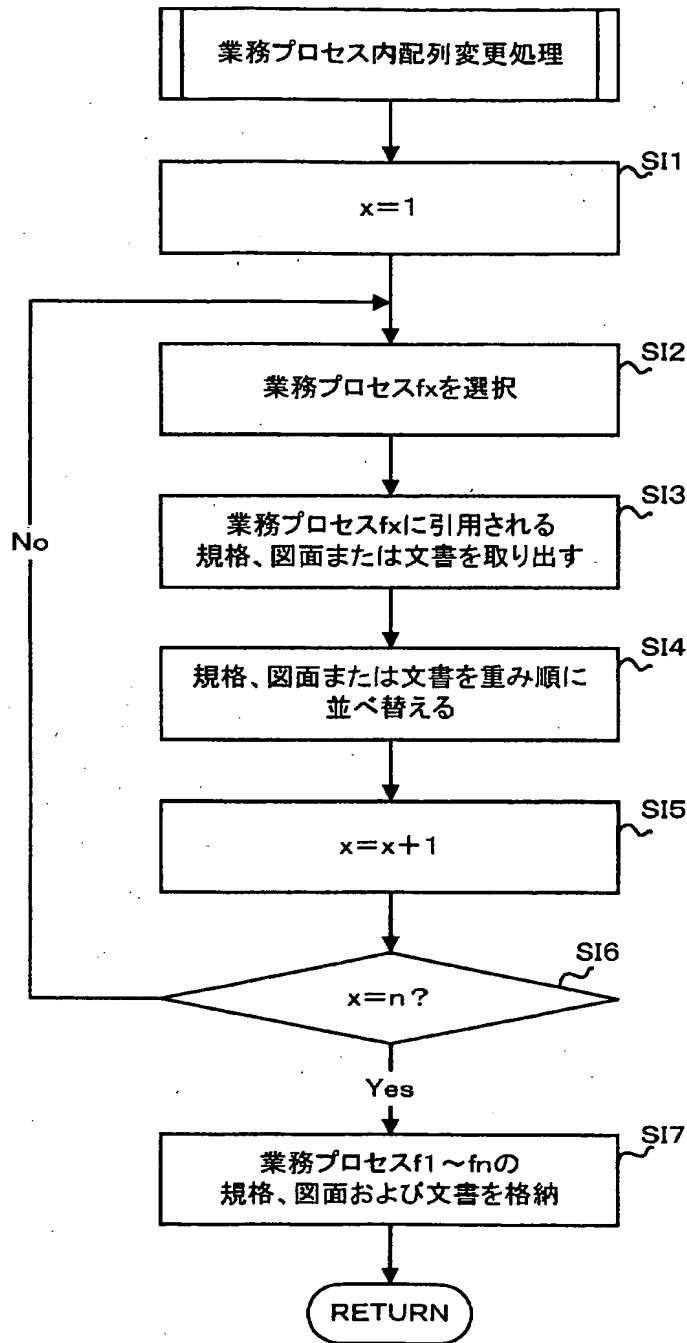
【図 1 5】

図11に示した業務プロセスフロー変更処理を説明するフローチャート



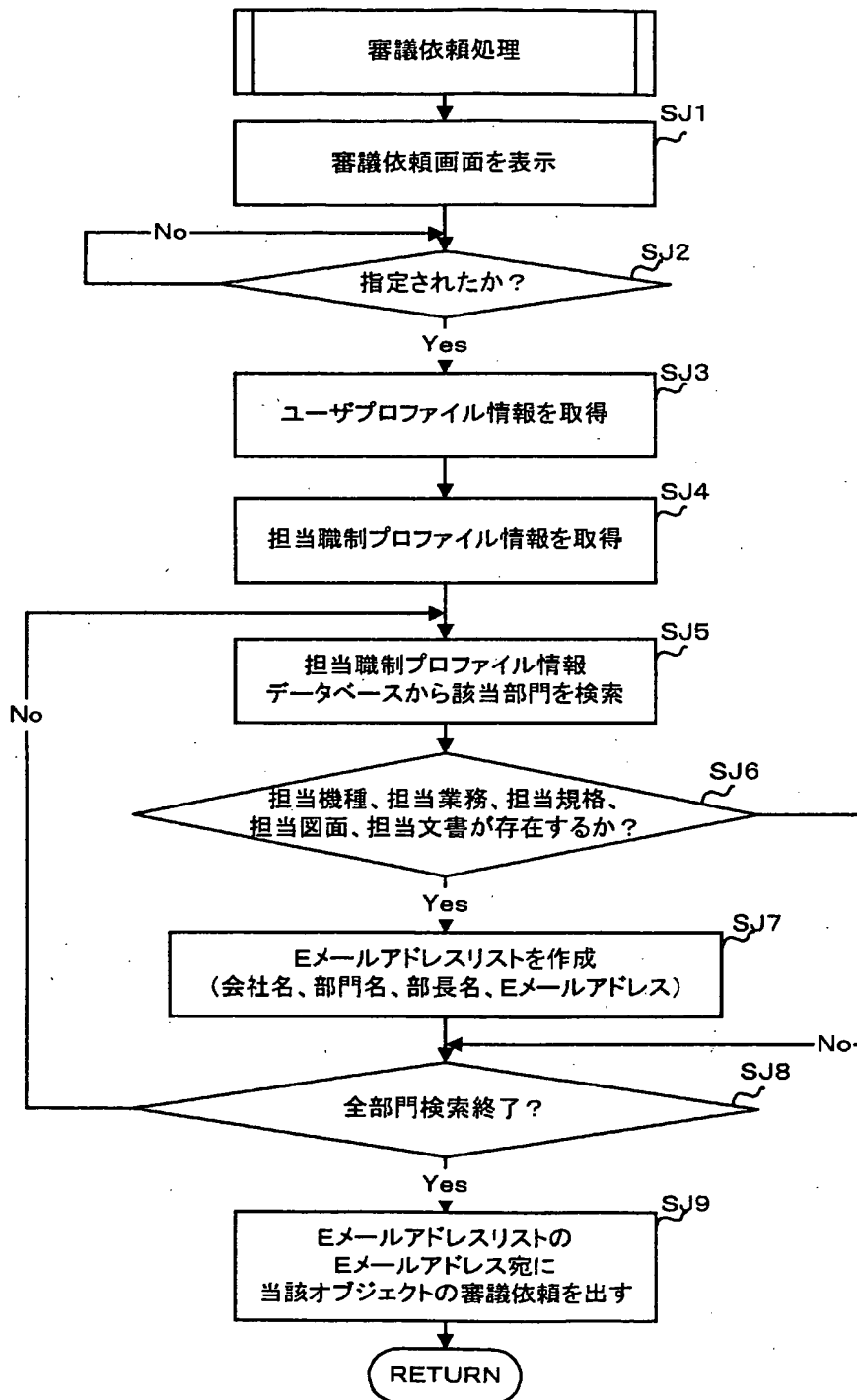
【図 16】

図11に示した業務プロセス内配列変更処理を説明するフローチャート



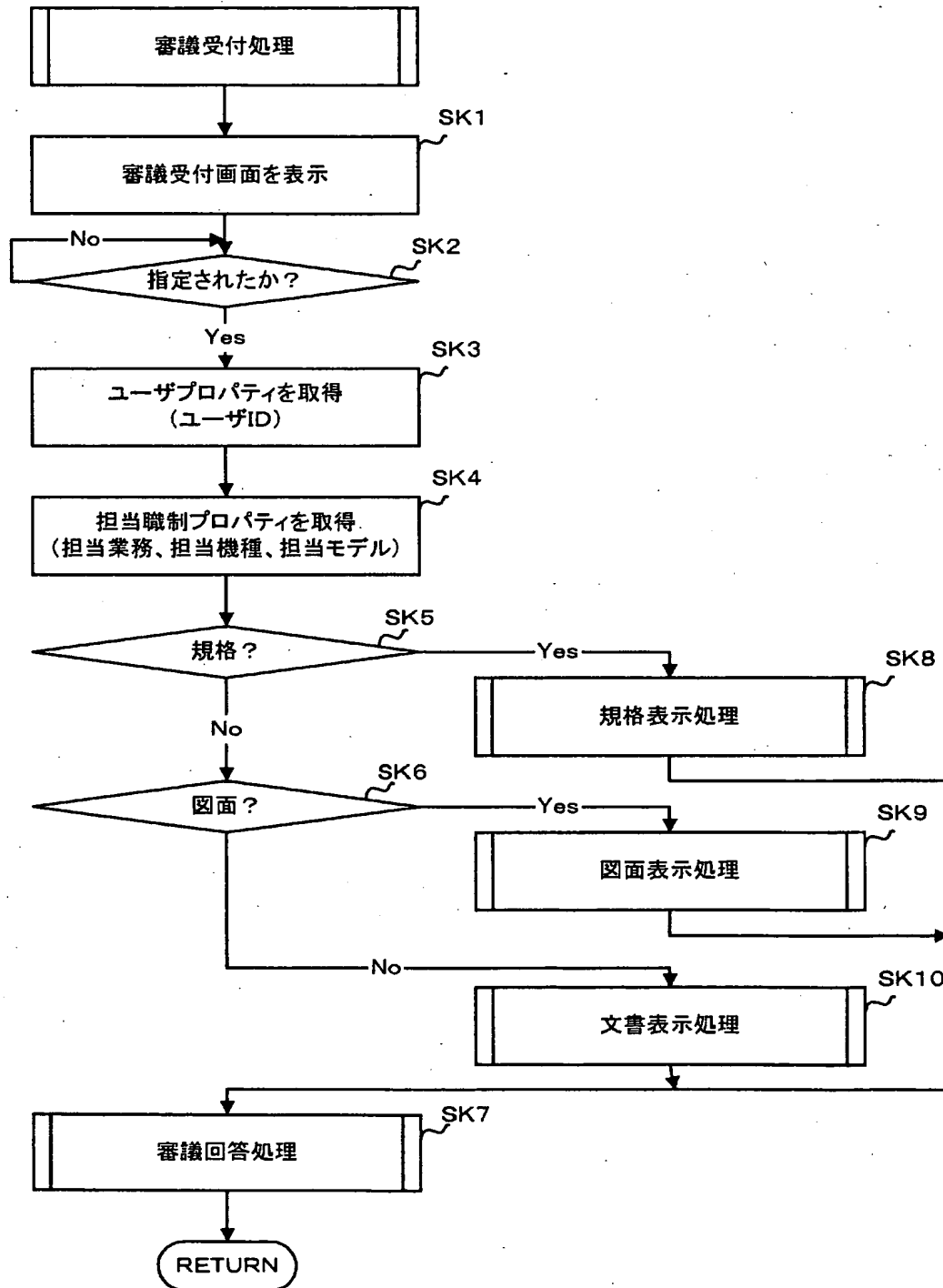
【図 17】

図8に示した審議依頼処理を説明するフローチャート



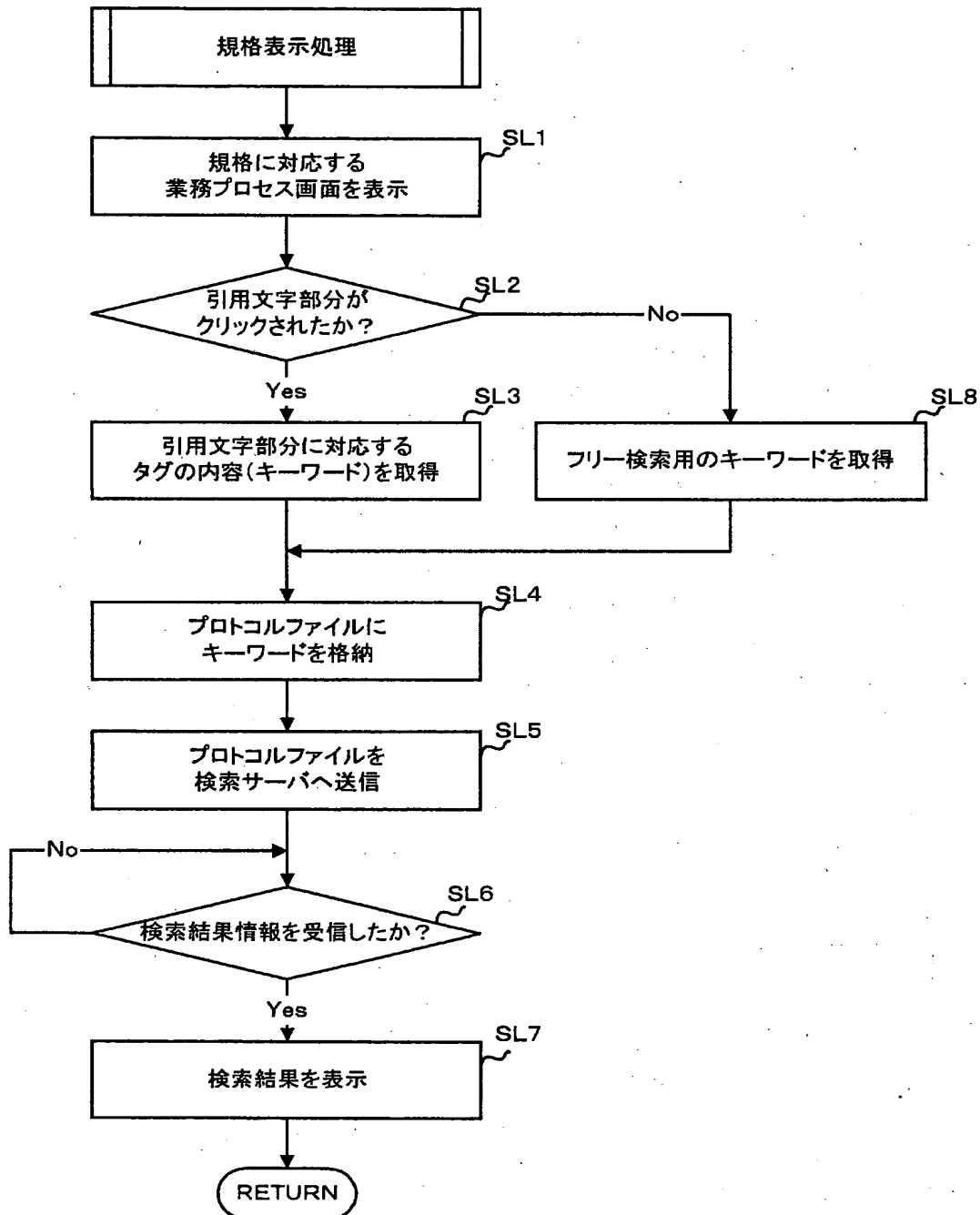
【図 18】

図8に示した審議受付処理を説明するフローチャート



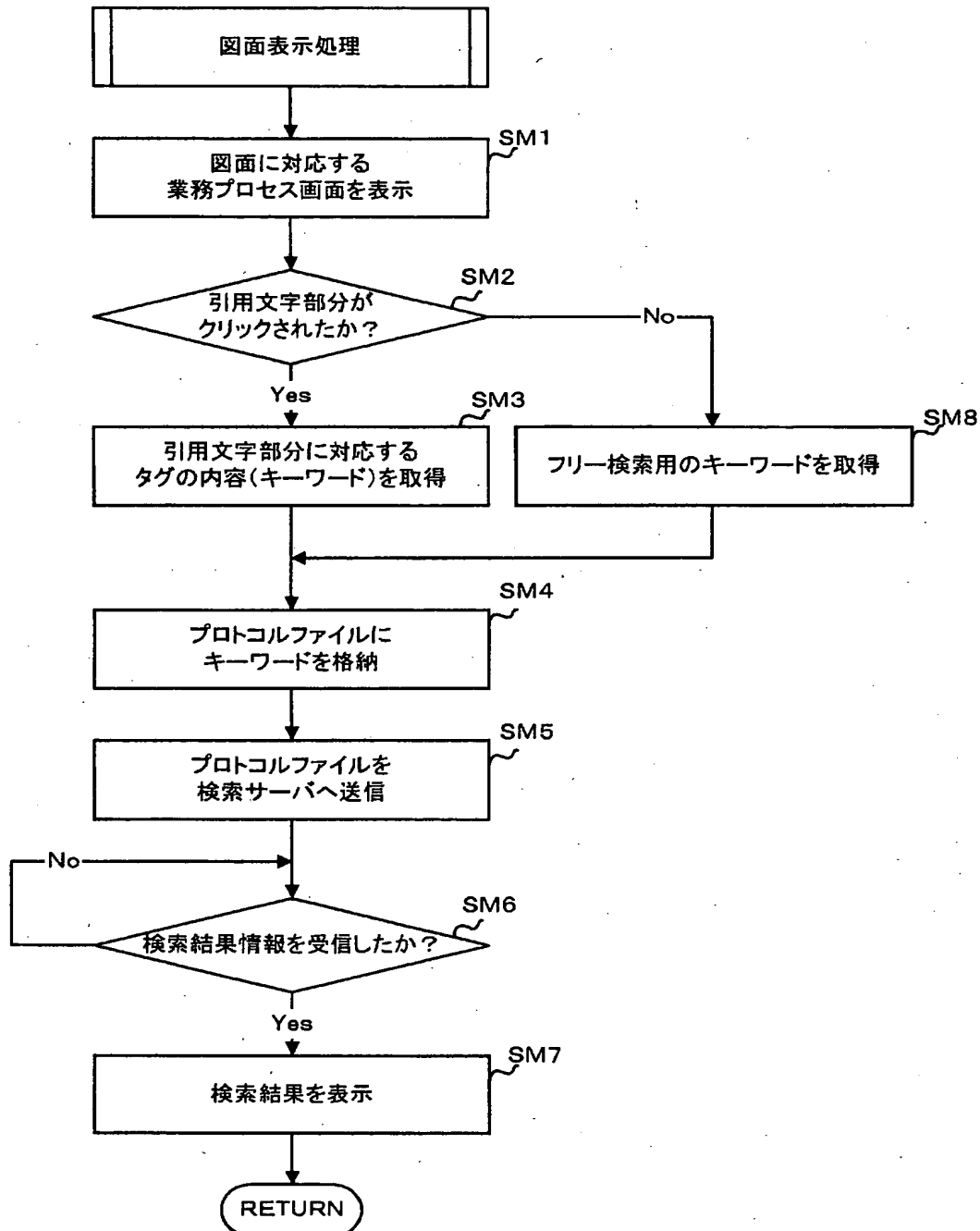
【図 19】

図18に示した規格表示処理を説明するフローチャート



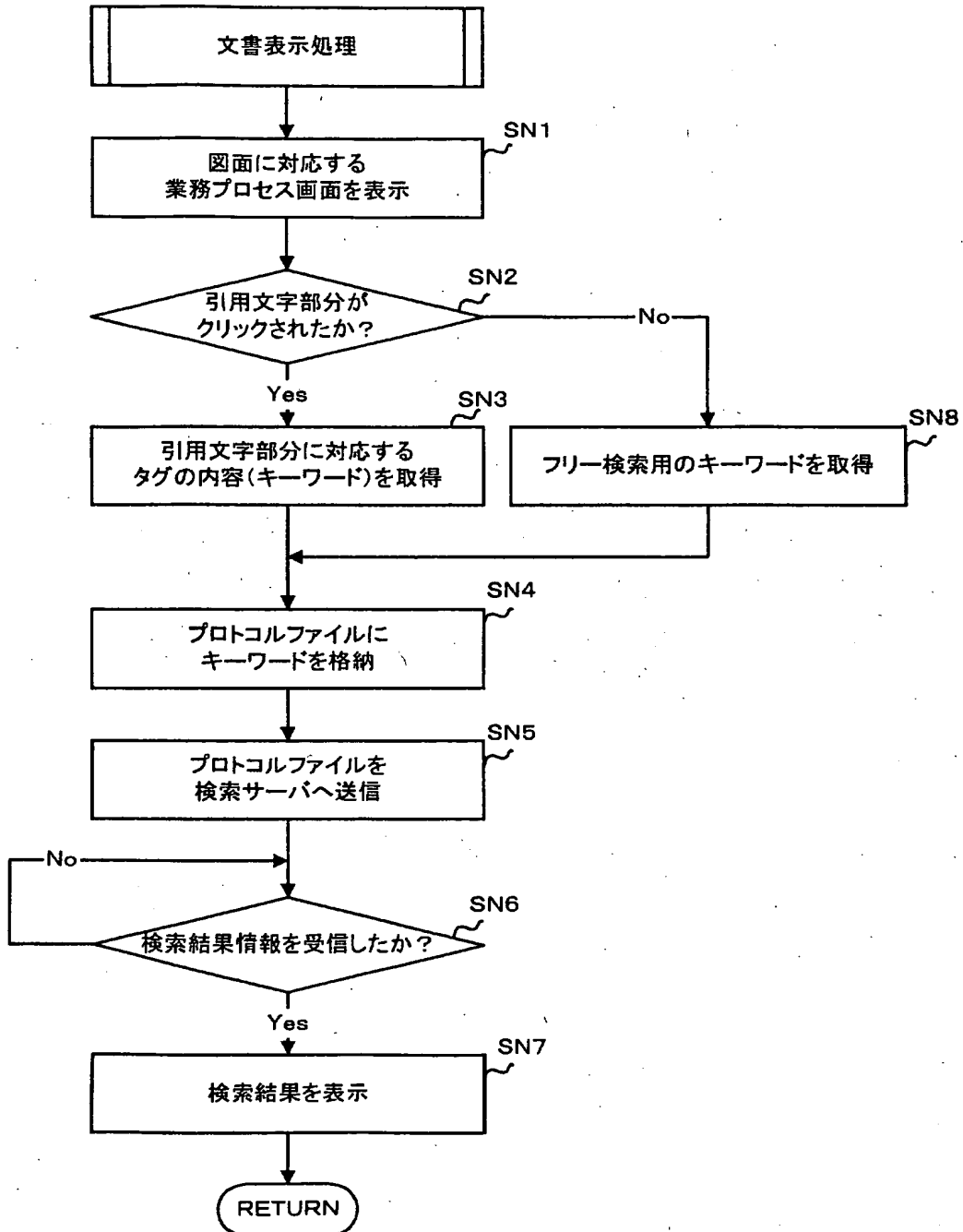
【図20】

図18に示した図面表示処理を説明するフローチャート



【図 21】

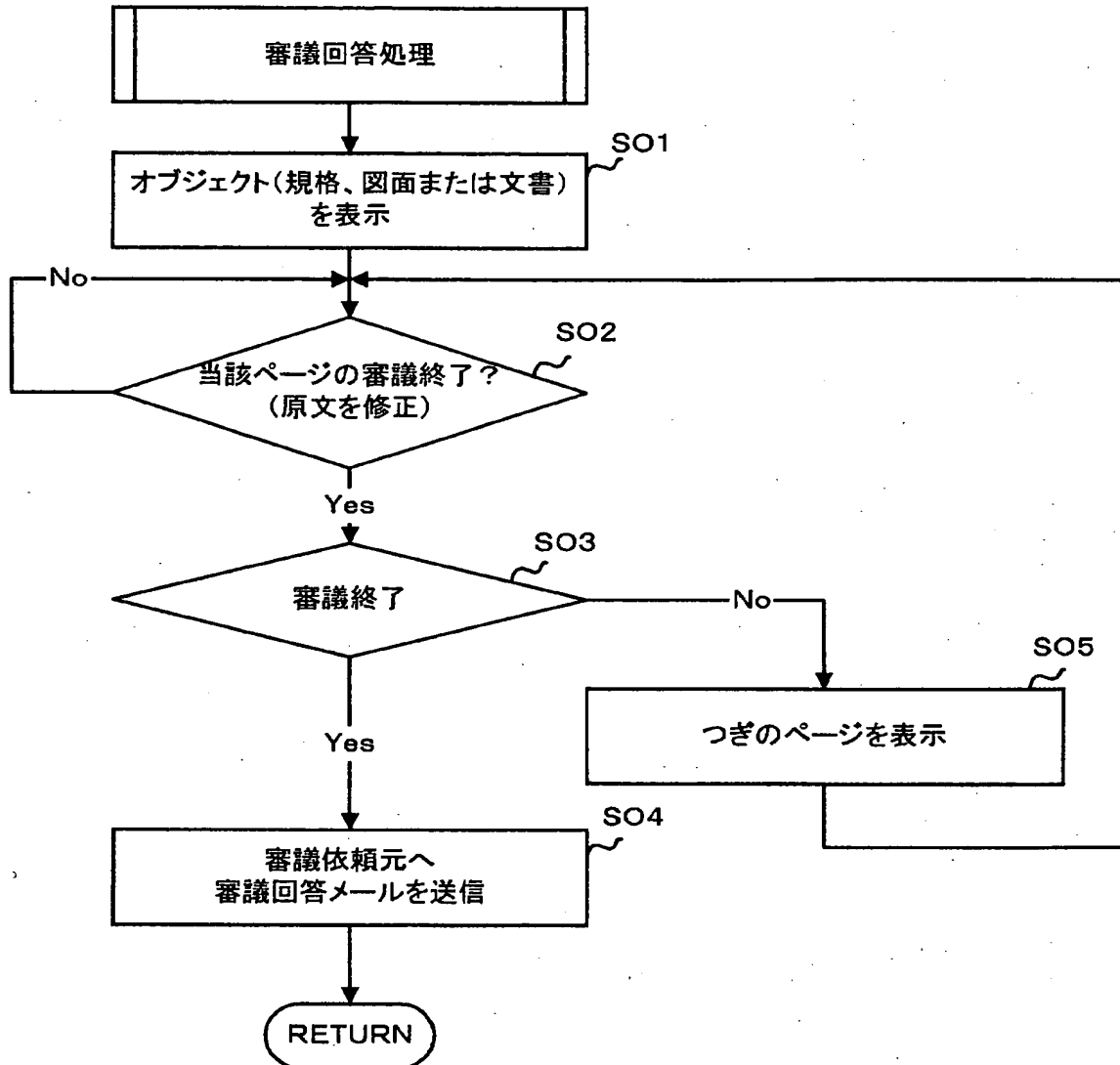
図18に示した文書表示処理を説明するフローチャート





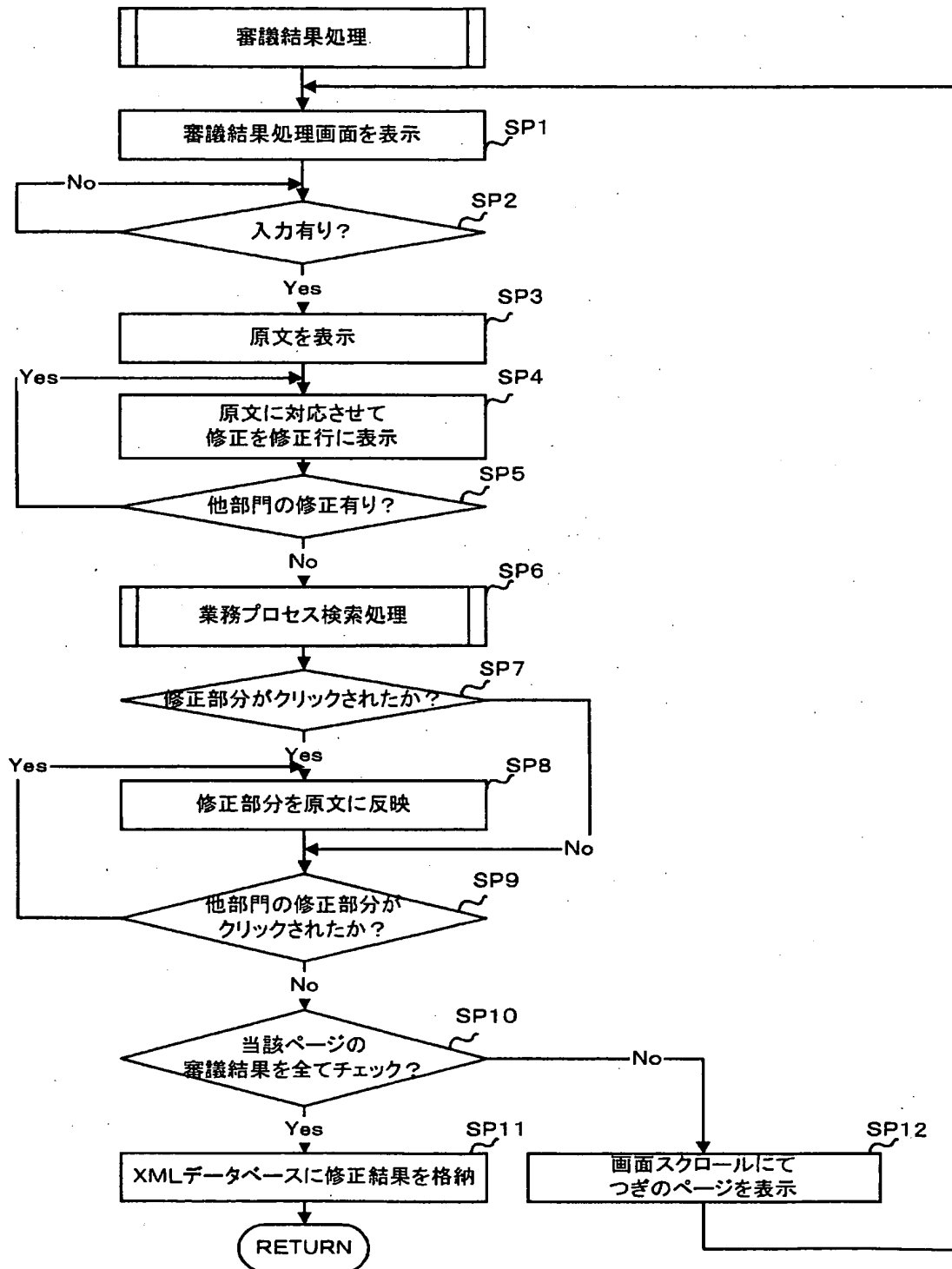
【図 22】

図18に示した審議回答処理を説明するフローチャート



【図 23】

図8に示した審議結果処理を説明するフローチャート



【図 2 4】

一実施の形態における認証画面800の一例を示す図

800

認証情報を入力してください

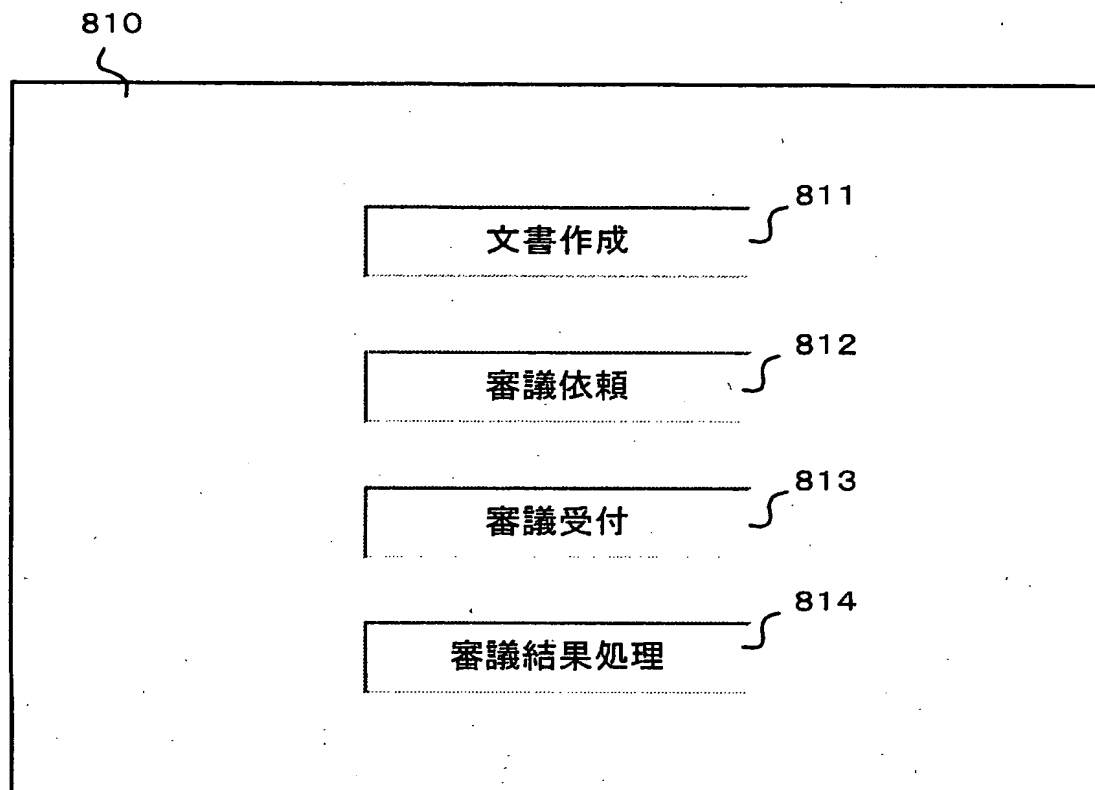
会社ID  801

ユーザID  802

パスワード  803

【図 2 5】

一実施の形態におけるメニュー画面810の一例を示す図



【図 2 6】

一実施の形態における文書作成画面820を示す図

820

担当業務

業務プロセス

選択してください

設計過程

製造過程

組み立て

試験過程

現地調整

821

822

【図 2 7】

一実施の形態における審議依頼画面830を示す図

830

審議依頼規格	<input type="text"/>	831
図面	<input type="text"/>	832
文書	<input type="text"/>	833

【図 2 8】

一実施の形態における審議受付画面840を示す図

840

審議受付規格	<input type="text"/>	841
図面	<input type="text"/>	842
文書	<input type="text"/>	843

【図 2 9】

一実施の形態における審議結果処理画面850を示す図

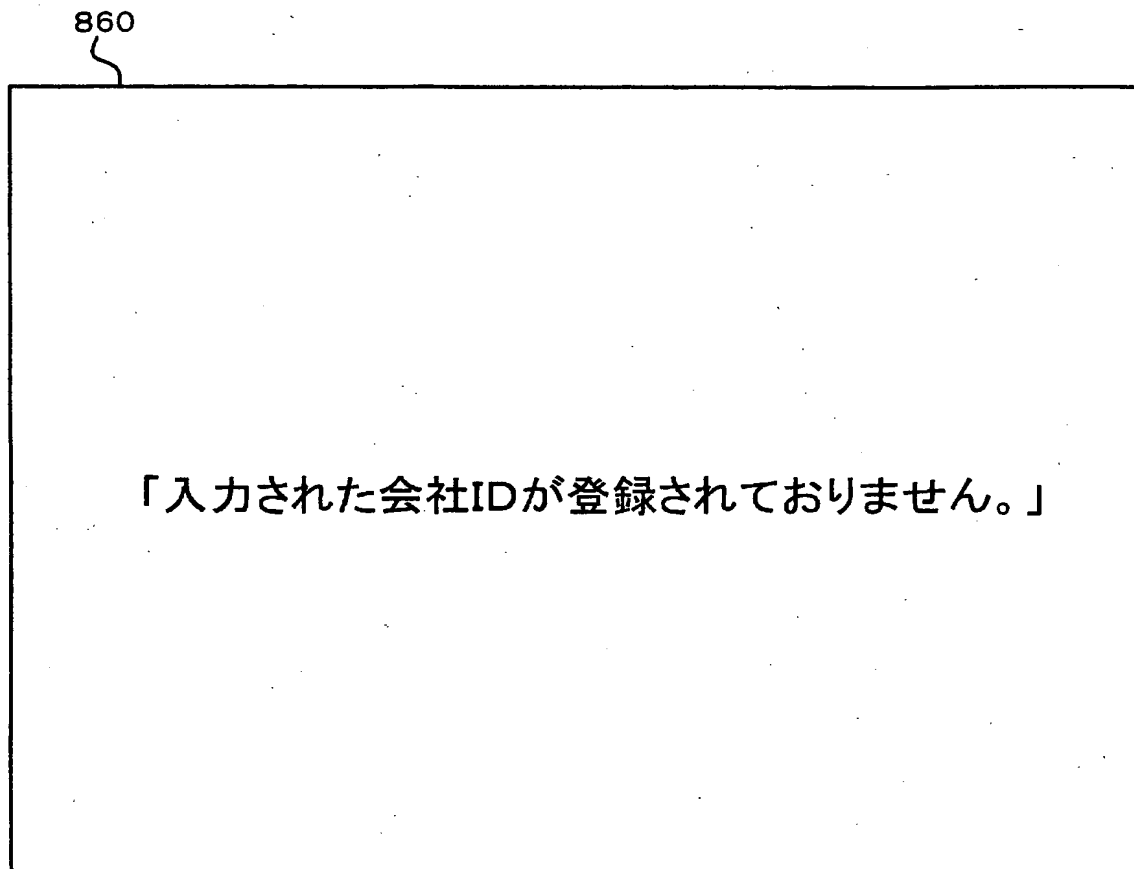
850

審議結果処理規格	<input type="text"/>	851
図面	<input type="text"/>	852
文書	<input type="text"/>	853



【図 3 0】

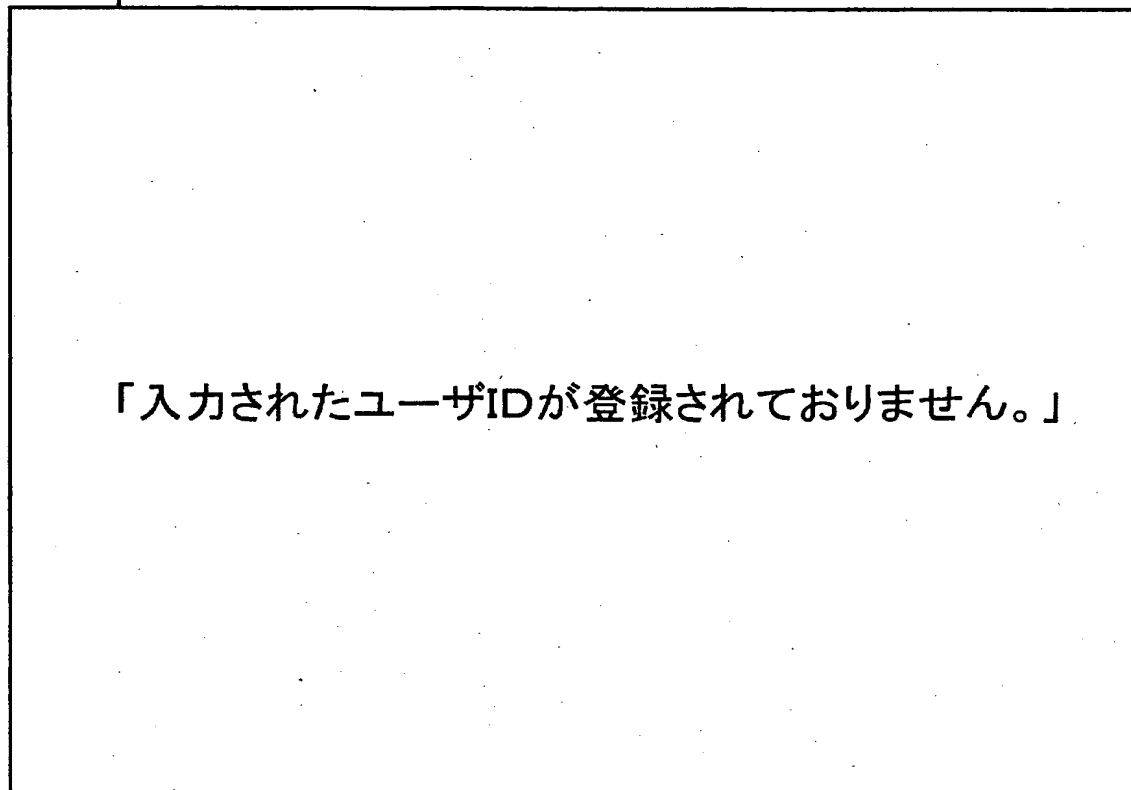
一実施の形態における会社IDエラー画面860を示す図



【図 3 1】

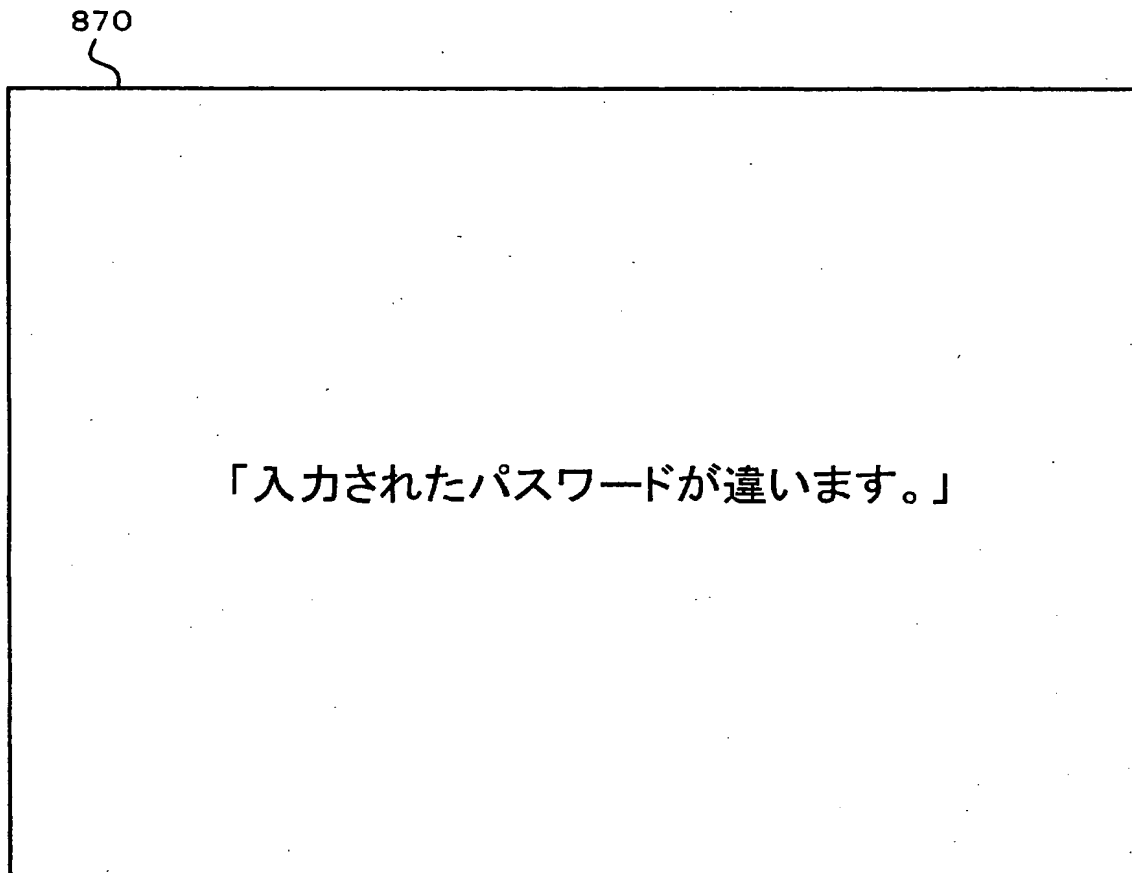
一実施の形態におけるユーザIDエラー画面865を示す図

865



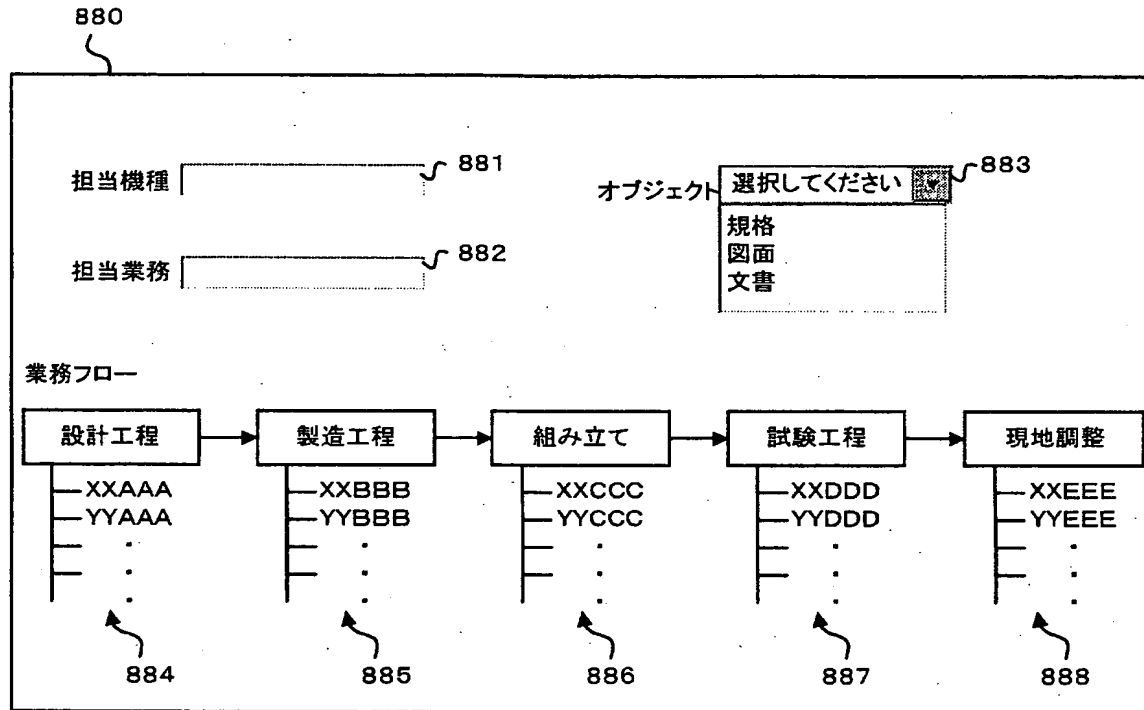
【図 3 2】

一実施の形態におけるパスワードエラー画面870を示す図



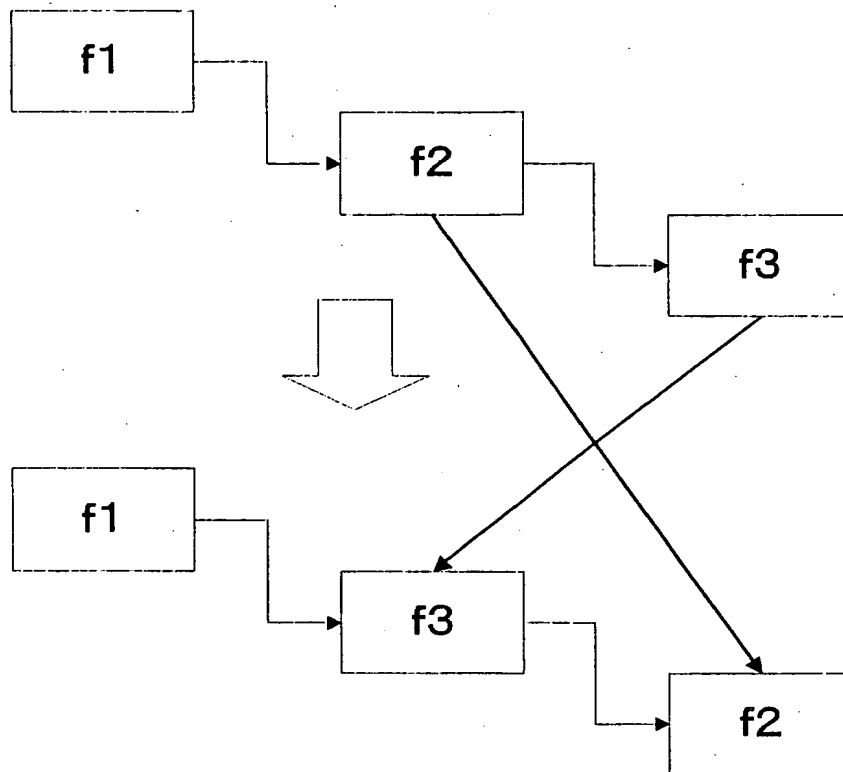
【図 33】

一実施の形態における業務プロセス画面880を示す図



【図 3 4】

図15に示した業務プロセスフロー変更処理を説明する図



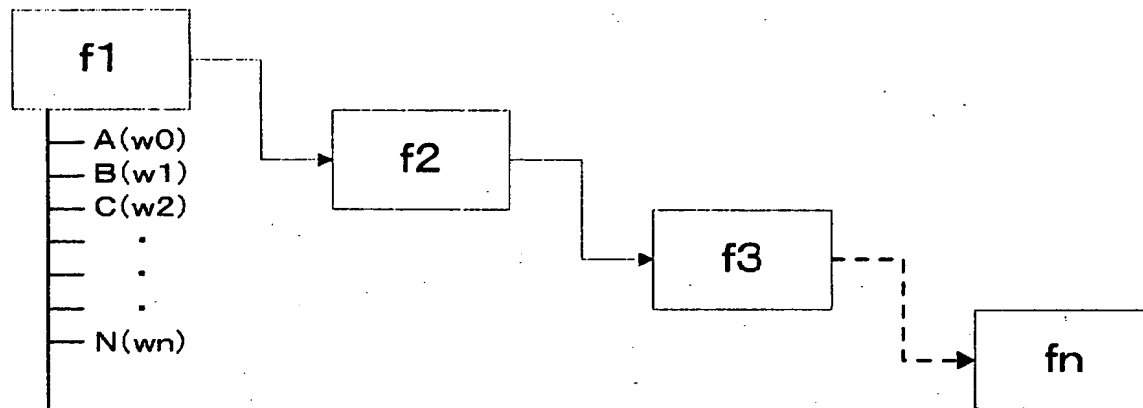
## 【図 3 5】

図15に示した業務プロセスフロー変更処理を説明する図

カウンタ	パターン	パターン名
C0	f0 f1 f2	P0
C1	f0 f2 f1	P1
C2	f1 f0 f2	P2
C3	f1 f2 f0	P3
C4	f2 f0 f1	P4
C5	f2 f1 f0	P5

【図 3 6】

図16に示した業務プロセス内配列変更処理を説明する図



【図 3 7】

一実施の形態におけるEメールアドレスリスト900を示す図

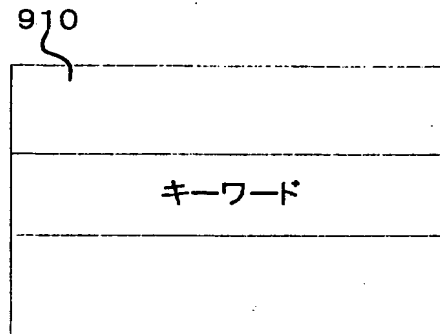
900

会社名	部門名	部長名	Eメールアドレス
× × ×	× × ×	× × ×	× × ×



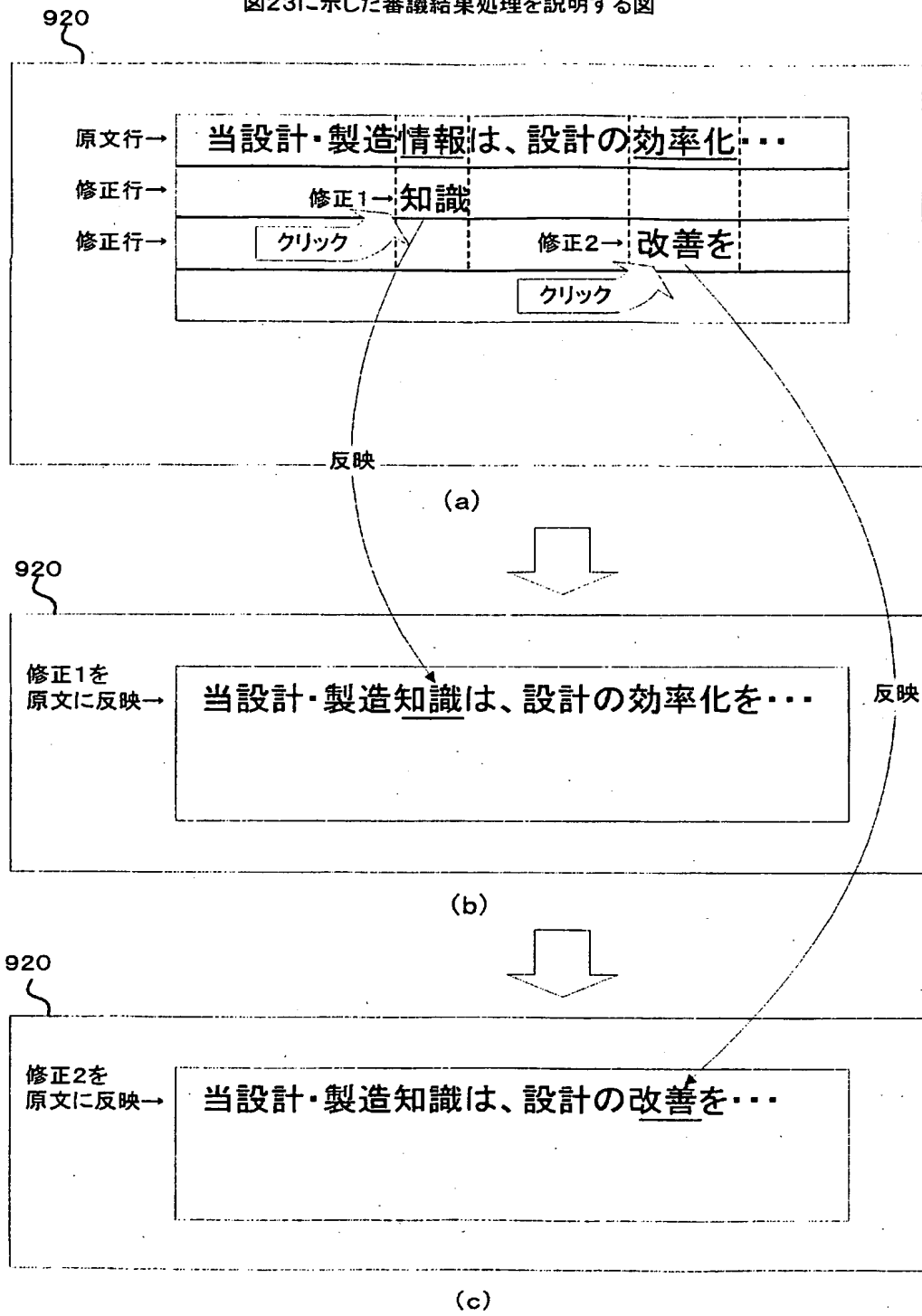
【図 3 8】

一実施の形態におけるプロトコルファイル910を示す図



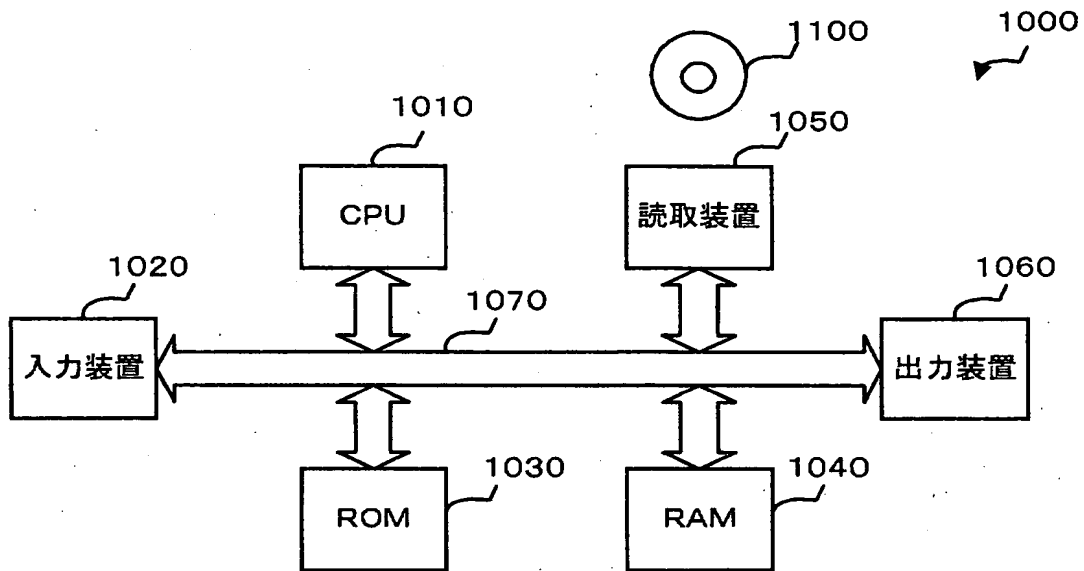
【図 39】

図23に示した審議結果処理を説明する図



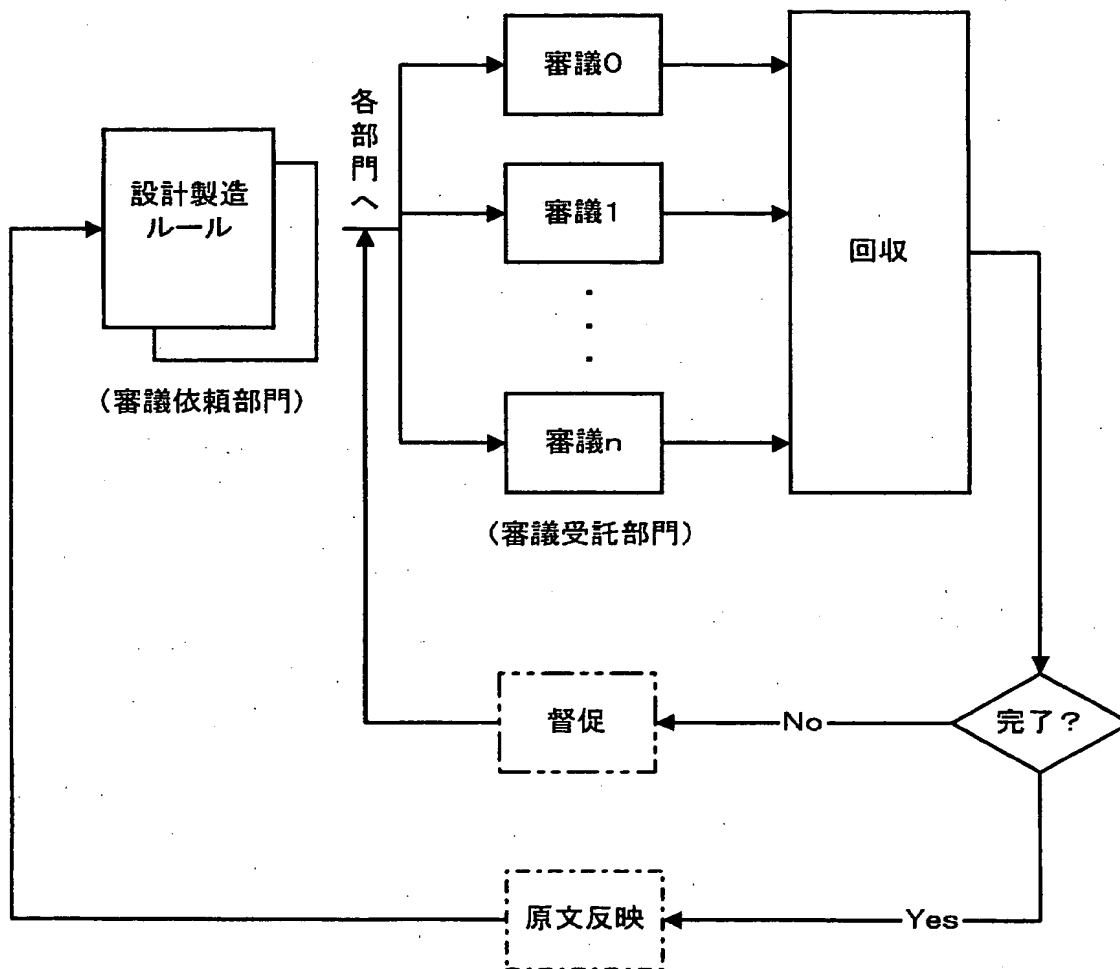
【図 4 0】

一実施の形態の変形例を示すブロック図



【図 4 1】

従来の書面審議の流れを説明する図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 書面審議にかかる作業を迅速に行うこと。

【解決手段】 デジタル文書審議装置 500 は、ユーザのユーザプロフィール情報を格納するユーザプロフィール情報データベース 600 と、担当職制プロフィール情報を格納する担当職制プロフィール情報データベース 610 と、デジタルかされた審議文書に対応する業務プロセス、ユーザプロフィール情報および担当職制プロフィール情報をキーとして、テンプレートをフレームにて審議依頼者へ提供し、このテンプレートに基づいて、審議文書を作成させ、作成された審議文書の審議を審議者へ依頼する制御部 502 とを備えている。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社